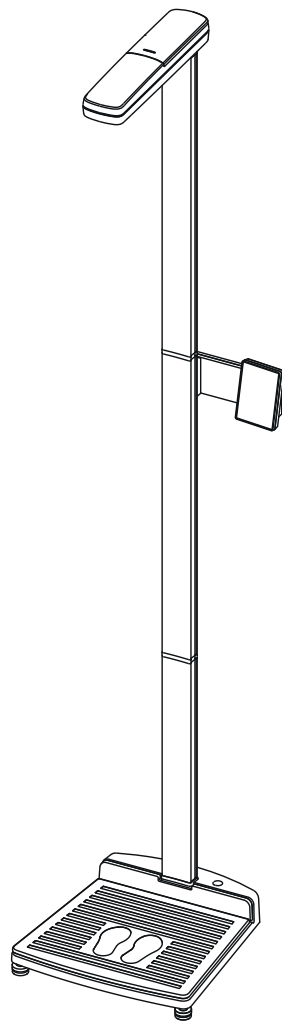


seca 287



目次

1. 製品の説明	3	言語の選択 (LAng)	31
1.1 用途	3	音量の設定 (VOL)	31
1.2 機能の説明	3	測定結果のアナウンスのオン/オフ (reSUL)	32
1.3 使用者に求められる資格	3	アナウンス「印字された測定結果をお取り ください (Print)」のオン/オフ	32
管理/ネットワーク運用	3	患者への指示のアナウンスのオン/オフ (InStr)	32
測定操作	3	シグナル音の設定	32
2. 安全に関する情報	4	5.5 その他の機能 (メニュー)	33
2.1 本取扱説明書での安全上のご注意	4	値の自動削除 (AClr)	34
2.2 基本的な安全上のご注意	4	超音波測定のアナウンスのオフ	34
製品の取扱い	4	BMI と BFR の切換え	34
感電の回避	5	ディスプレイのバックライトの設定 (LCD)	35
負傷と感染の回避	5	追加身長継続的保存 (ZEr0)	35
製品の破損の回避	6	追加重量を保存したままにする (Pt)	36
測定結果の取扱い	7	自動保持機能をオンにする (AHold)	37
梱包材の取扱い	7	シグナル音をオン/オフにする (bEEP)	37
3. 概観	8	抑制の設定 (FIL)	37
3.1 製品の外観	8	工場設定に戻す (RESET)	38
3.2 操作部	9	6. ワイヤレスネットワーク seca 360° wireless	39
3.3 ディスプレイのアイコン	10	6.1 はじめに	39
3.4 マルチ機能ディスプレイのメニュー構造	12	seca ワイヤレスグループ	39
3.5 本製品の信号および音声出力	13	チャンネル	39
3.6 型式ラベルの標示	13	製品の認識	40
3.7 梱包材に表記されているマーク	14	6.2 ワイヤレスグループ内の測定ステーションの 運用 (メニュー)	40
4. ご使用になる前に	15	ワイヤレスグループを設定する (Lrn)	40
4.1 同梱物	15	自動送信をオンにする (ASEnd)	41
4.2 製品の組立て	16	無線モジュールをオン/オフにする (システム)	41
第2のポールエレメントの組立て	16	印刷オプションを選択する (APrt)	42
マルチ機能ディスプレイの組立て	17	時刻を設定する (tIME)	42
第3のポールエレメントの組立て	18	7. 衛生管理	43
超音波ヘッドの組立て	19	7.1 清掃	43
製品の設置	21	7.2 消毒	43
製品の消毒	22	7.3 滅菌	44
4.3 製品の移動	22	8. 機能点検	44
4.4 電源供給の確保	23	9. こんなときはどうする?	44
5. 操作	24	10. メンテナンス/再検定	47
5.1 身長測定の前補正	24	10.1 メンテナンスおよび再検定についての情報	47
5.2 測定	25	10.2 度量衡メーター内容を検証する	47
製品電源のオン切換え	25	11. 技術データ	48
測定プロセスの実行	25	11.1 一般的な技術データ	48
キーロックのオン/オフ切換え	26	11.2 重量測定の日付	49
乳児/幼児の体重の測定 (2 in 1)	26	12. 交換部品	49
体重の継続表示 (HOLD)	27	13. オプションの付属品	50
患者のデータを入力 (インプット) する	27	14. 廃棄処分	50
患者の性別を入力 (gender (性別))	28	15. 保証について	50
Body Mass Index (ボディマス指数) (BMI) の算定	28	16. 適合宣言書	50
Body-Fat-Rate (BFR) (体脂肪率) の算定	29		
測定結果をワイヤレス受信製品に送信する	29		
測定結果の印刷	29		
重量測定領域の自動切換え	30		
製品の電源オフ	30		
5.3 メニュー内を移動する	30		
5.4 音声出力の設定 (メニュー)	31		

1. 製品の説明

1.1 用途

超音波式全自動身長体重計 **seca 287** は、各国の規定に準拠した上で、主に病院、クリニック、老人介護施設、および患者自身が実行する、いわゆる「セルフスクリーニング」で使用されています。

超音波式全自動身長体重計 **seca 287** では従来同様の身長測定や全般的栄養状態の把握ができ、診断や治療法の決定の際に担当医師をサポートします。

ただし正確な診断を下すには、体重・身長測定以外にも担当医師が適切な検査を行い、その結果を考慮する必要があります。

1.2 機能の説明

超音波式全自動身長体重計 **seca 287** は、超音波を使用して身長測定を行います。重量認識は4個のロードセルで行います。本製品は、設定可能な音声出力を使って患者が自ら測定するのを導きます。さらに正しい測定姿勢を示すステッカーが付属しています。

身長は、マルチ機能ディスプレイに転送されます。それによりボディマス指数 (BMI) および体脂肪率 Body-Fat-Rate (BFR) の自動算定が可能です。

測定結果は、ワイヤレスネットワーク **seca 360° wireless** を通じて **seca** ワイヤレスプリンターや **seca** USB ワイヤレスアダプターと互換性のある **seca** PC ソフトウェア搭載のパソコンにワイヤレスで転送されます。


この超音波式全自動身長体重計は、用途に挙げられている用途にのみ使用してください。


1.3 使用者に求められる資格


管理 / ネットワーク運用	本製品は必ず経験豊かな管理者またはホスピタルエンジニアが設置し、ネットワークに組み込んでください。
測定操作	この製品の設定は、必ず医療関係の専門家が行ってください。 患者は、測定プロセスを自分で実施することができます。

2. 安全に関する情報

2.1 本取扱説明書での安全上のご注意

 **危険！**
危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながります。

 **警告！**
危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながる可能性があります。

 **注意！**
危険な状況を示します。この注意を無視した場合、軽度から中程度の負傷事故につながる可能性があります。

気をつけて！

製品の操作を誤っている可能性があることを表示します。この注意事項を無視した場合、製品の損傷や誤った測定結果につながる可能性があります。


注意事項

この製品の使用に関する追加的な情報を含んでいます。


2.2 基本的な安全上のご注意

製品の取扱い

- ▶ 取扱説明書に記載されている注意事項を守ってください。
- ▶ 取扱説明書は大切に保管してください。本取扱説明書は製品の一部であり、常時参照できる状態にしておいてください。

 **危険！**
爆発の危険
この製品は、以下のガスが充満する環境に設置しないでください。

- 酸素
- 可燃性の麻酔ガス
- その他の発火するおそれのある物質 / 混合気

 **注意！**
患者の身に危険、製品の破損

- ▶ 電子医療機器と接続する追加製品は、適切な IEC または ISO 規格（例えば電算処理機器には IEC 60950）に準拠していることが証明されているものでなければなりません。その他、設定はすべて、医療システム用の規格要件を満たしている必要があります（IEC 60601-1-1 または IEC 60601-1 第 3 版第 16 章を参照）。電子医療機器に追加製品を接続する方は、システム設定者であり、システムがそのシステムに対する規格要件に一致していることに責任を負います。ただし各地域の法律は、上に挙げた規格要件よりも優先されることを指摘しておきます。ご不明の点がありましたら、現地の専門業者か技術サービスにご連絡ください。
- ▶ 本製品は検定付ですので、精度の確認の為、各都道府県にて実施されている定期検査をご依頼下さい。
- ▶ 製品における技術的な変更は許可されていません。本製品には、使用者様をご自分でメンテナンスを行う部品は含まれていません。メンテナンスおよび修理は、必ず正規の seca サービス担当者にご依頼ください。最寄りのサービス担当者については info@seca.co.jp までお問い合わせください。
- ▶ 必ず seca の純正部品と、同じく純正の交換部品をご使用ください。その他のものを使用した場合には保証が適用されません。

**注意！
患者の身に危険、誤作動**

- ▶ 誤測定や無線転送時の障害を避けるために、高周波機器といった電子医療機器とは、最低でも約1メートルの距離をあけてください。
- ▶ 誤測定や無線転送時の障害を避けるために、携帯電話といったHF（短波）機器とは、最低でも1メートルの距離をあけてください。
- ▶ HF機器の実際の送信能力によって、最低でも1mを超える距離が必要な場合があります。詳細は www.seca.com をご覧ください。

感電の回避**警告！
感電**

- ▶ ACアダプターを使用する製品は、電源コンセントへ容易にアクセスできるように、かつ電源の遮断をすぐに実行できるように設置してください。
- ▶ お住まいの地域の電源供給がACアダプターの記載と一致していることを確認してください。
- ▶ ACアダプターに濡れた手で触れることは、かたく禁じます。
- ▶ 延長コードやマルチコンセントタップは使用しないでください。
- ▶ ケーブルが押しつぶされたり、あるいは鋭い角で損傷しないよう注意してください。
- ▶ ケーブルが、熱を持った物体に接触しないよう注意してください。
- ▶ この製品は、海拔3000mよりも高いところで使用しないでください。

負傷と感染の回避**警告！
転落による負傷**

- ▶ 製品が水平にしっかり設置されていることを確認してください。
- ▶ 接続ケーブル（ある場合）は、使用者と患者が足を引っかけてつまづかないように敷設してください。
- ▶ 本製品は、起立補助具としては設計されていません。体が思うように動かない人が車椅子から立ちあがる際などに、身体を支えてあげてください。
- ▶ 患者が計量台に乗る際、角に足を置かないようご注意ください。計量台が傾く恐れがあります。
- ▶ 患者がゆっくりと確実に計量台に乗り降りするようにしてください。

**警告！
足を滑らせる危険**

- ▶ 患者が計量台に乗る前に、計量台が乾いていることを確認してください。
- ▶ 患者が計量台に乗る前に、患者の足が濡れていないことを確認してください。
- ▶ 患者がゆっくりと確実に計量台に乗り降りするようにしてください。



注意！

患者の身に危険、製品の破損

患者が立つ面は、ガラス板でできています。ガラス板の損傷、例えば引っかけ傷、亀裂、剥離箇所は、負傷する危険性があり、またガラス板の破損の原因になります。

- ▶ ガラス板にとがった物を置かないでください。
- ▶ ご使用前は毎回、製品のガラス板に傷がついていないか、亀裂が走っていないか、剥げ落ちた箇所はないかを確認してください。そのような損傷を見つけたら、そのガラス板を新しいものと交換してください。
- ▶ ガラス板が損傷しているときには、本製品を使用しないでください。



警告！

感染の危険

- ▶ 相互汚染および院内感染のリスクを低減するために測定の前後は手を洗ってください。
- ▶ この製品は、本文書の該当する節で説明したように、定期的に衛生管理を行ってください。
- ▶ 患者が感染性の疾患にかかっていないことを確認してください。
- ▶ この製品に接触する可能性のある患者の身体部分に開放創や感染性の皮膚の変容がないことを確認してください。

製品の破損の回避

気をつけて！

製品の破損

- ▶ 製品およびセンサーの内部には液外およびほこりが入らないように細心の注意を払ってください。液体が入ると電子機器が壊れることがあります。
- ▶ ACアダプターをコンセントから抜く前に、製品の電源をオフにしてください。
- ▶ 製品を長期間にわたって使用しないときには、ACアダプターをコンセントから抜いておきます。そうしないと製品には電流が流れ続けます。
- ▶ 製品を落とさないでください。
- ▶ この製品に衝撃や振動を与えないでください。
- ▶ この文書の該当する節で説明したように、定期的に機能点検を実施してください。正常に機能しない、または損傷している状態でこの製品を使用することは許されません。
- ▶ この製品は直射日光にさらさないでください。また熱源のすぐ近くに置かないでください。温度が高すぎると電子機器が壊れることがあります。
- ▶ 急な温度変化も避けてください。この製品を移送し、環境の気温変化が20°Cを上回る場合には、スイッチを入れるまで最低2時間は製品を新しい環境になじませてください。そうしないと結露が生じ、それが電子機器を壊すことがあります。
- ▶ 本製品は、必ず規定通りの環境条件のもとでご使用ください。
- ▶ 本製品は、必ず規定通りの保存条件のもとでご保管してください。
- ▶ 必ずアクリルガラスおよびその他のデリケートな表面に適した、塩素およびアルコールを含まない消毒液を使用してください（作用物質：第四級アンモニウム化合物など）。
- ▶ クレンザーや刺激性のクリーナーは使用しないでください。
- ▶ 有機溶剤（アルコールやベンジンなど）は使用しないでください。

測定結果の取扱い

**警告！**
患者の身に危険

この製品は、診断用機器ではありません。この製品は、担当の医師が診断を下すのを支援します。

- ▶ 正確な診断を下し、治療開始するには、この製品を使用する他に、担当の医師は適切な検査を指示し、その結果に配慮する必要があります。
- ▶ 診断とそこから導き出される治療の責任は、担当する医師が負います。

気をつけて！**整合性を欠いた測定結果**

- ▶ この製品による測定値を保存、再利用（例えば、seca PC ソフトウェアや病院内情報システムでの利用）する前に、その測定値が妥当なものであることを確認してください。
- ▶ 測定値が seca PC ソフトウェアへ、または病院内情報システムへ転送される場合、それを再利用する前に、その測定値が妥当なもので、本当に対象としている患者のものであることを確認してください。

気をつけて！**反射によるエラーメッセージ**

物体または人が本製品の至近の場所にあると誤測定の原因になります。

- ▶ 測定プロセス中は、体重計の前および横 0.5 メートル以内に物体がない、または人がいないようにしてください。
- ▶ 本製品が壁から 0.2 メートル以上離れていることを確認してください。
- ▶ 患者が頭頂部に髪飾りをつけていないことを確認してください。

梱包材の取扱い

**警告！**
窒息の危険

プラスチックフィルム製の梱包材（ビニール袋）には、窒息を引き起こす危険があります。

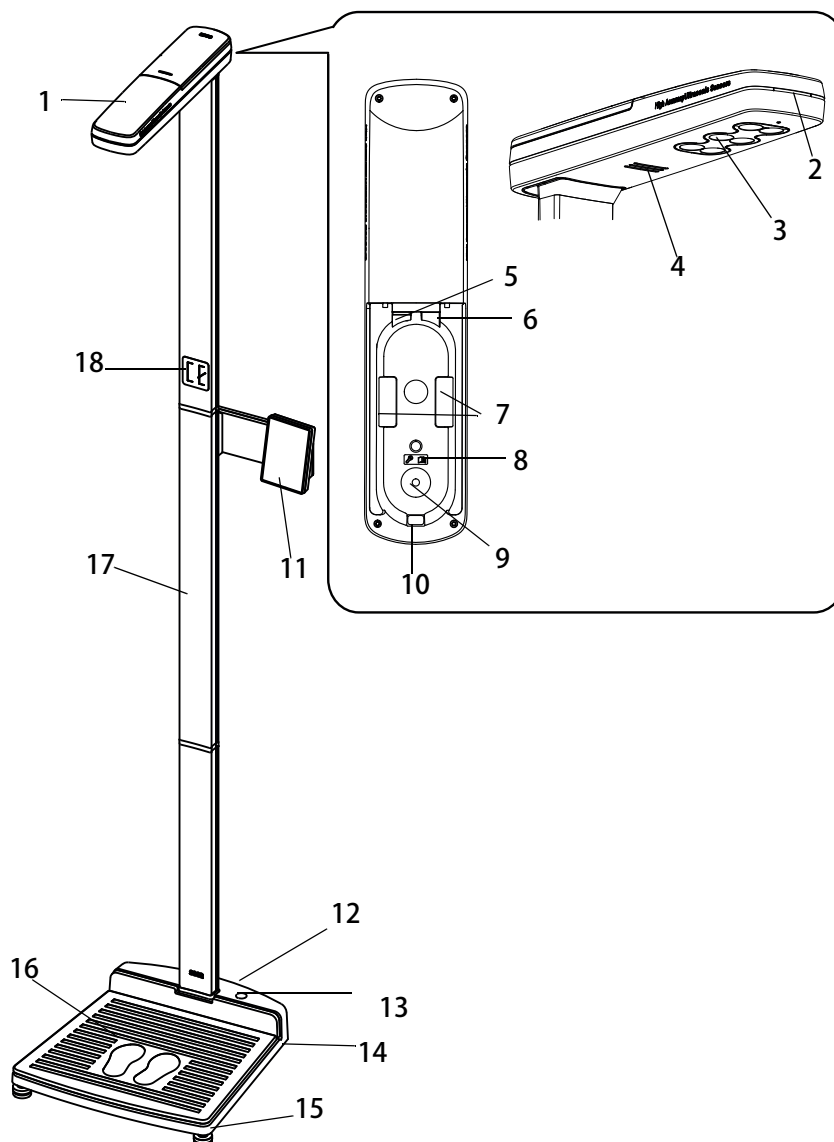
- ▶ 梱包材は、子供の手が届かないように保管してください。
- ▶ 本来の梱包材がなくなっている場合、窒息の危険を低下させるために、使用するビニール袋には必ず安全のための穴をあけてください。なるべく再利用できる材料をご使用ください。

注意事項

製品納品時に使用されていた梱包剤は、後で使用できるように保管しておいてください（例えば、メンテナンスのための返送のため）。

3. 概観

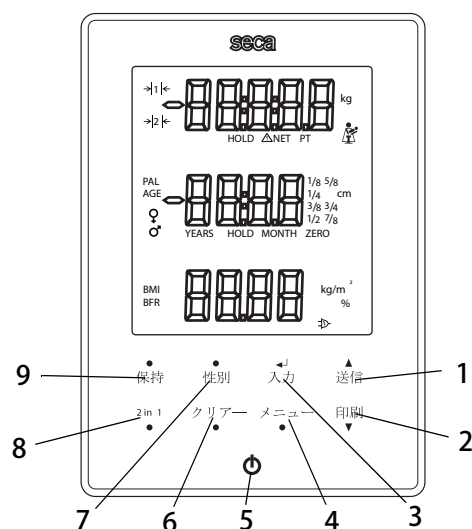
3.1 製品の外観



No.	製品コンポーネント	機能
1	超音波ヘッド	身長測定に使用
2	ステータス表示 LED	測定プロセスのステータスを表示
3	超音波センサー	身長測定に使用
4	スピーカー	音声出力に使用
5	モジュージャック	モジュラーケーブルの接続に使用 (マルチ機能ディスプレイへのデータ転送)
6	サービスインターフェース	seca サービスによる使用のため
7	ケーブル止め具	モジュラーケーブルの格納に使用
8	注意プレート	取扱説明書での取付けについての注意
9	取付け開口部	測定ヘッドをポールに取り付けるのに使用
10	ケーブルガイド	モジュールケーブルを超音波ヘッドに通すのに使用

No.	製品コンポーネント	機能
11	マルチ機能ディスプレイ	セントラルコントロール / 表示エレメント
12	キャスター	2個、短い距離を移動させるのに使用
13	水準器	製品が水平に設置されているかを表示
14	電源接続部	本製品の接続に使用
15	脚部調整ねじ	4個、正確な位置調整のために使用
16	計量台	重量測定部として使用
17	ポール	身長測定に使用
18	ステッカー： 「適切な姿勢」	適切な姿勢についての注意

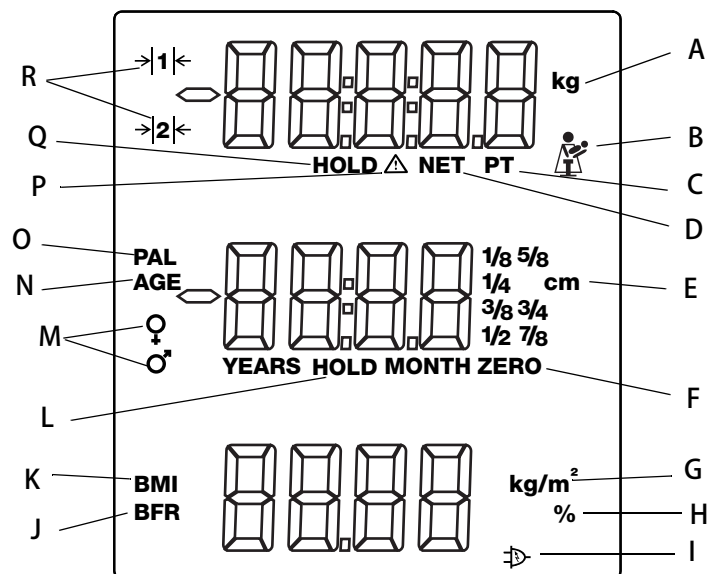
3.2 操作部



No.	操作部	機能
1	▲ 送信	矢印ボタン送信 <ul style="list-style-type: none"> 体重測定の間（ワイヤレスネットワークが設定されているとき）： <ul style="list-style-type: none"> - 測定結果を受信可能な製品（ワイヤレスプリンター、USB ワイヤレスアダプター付パソコン）に転送する メニュー内： <ul style="list-style-type: none"> - サブメニューの選択、メニューポイントの選択 - 値を大きくする
2	▼ 印刷	矢印ボタン印刷 <ul style="list-style-type: none"> 体重測定の間（ワイヤレスネットワークが設定されているとき）： <ul style="list-style-type: none"> - 測定結果を印刷する（ワイヤレスプリンター） メニュー内： <ul style="list-style-type: none"> - サブメニューの選択、メニューポイントの選択 - 値を小さくする
3	← 入力	エンターボタン入力： <ul style="list-style-type: none"> 体重測定の間： <ul style="list-style-type: none"> - 患者のデータ（年齢、性別、PAL）を入力 メニュー内： <ul style="list-style-type: none"> - 選択したメニューポイントの確定 - 設定した値を保存する

No.	操作部	機能
4	メニュー ●	メニューボタン： ・ 体重測定の間： - 操作する部分のメニューを呼び出す ・ メニュー内： - 短く押す：メニューレベルを1つ戻る - 長く押す：メニューから出る
5	⏻	スタートボタン、マルチ機能ディスプレイ： マルチ機能ディスプレイおよび体重計のオン/オフ
6	クリアー ●	クリアボタン： マニュアルで入力または無線を介して受け取ったデータ（患者のデータ、身長、BMI、BFR）を削除する
7	● 性別	性別ボタン： 患者の性別の入力
8	2 in 1 ●	2 in 1 ボタン： 乳児および幼児の体重測定のための 2 in 1 機能をスタート
9	● 保持	保持ボタン： 保持機能をオンにする

3.3 ディスプレイのアイコン

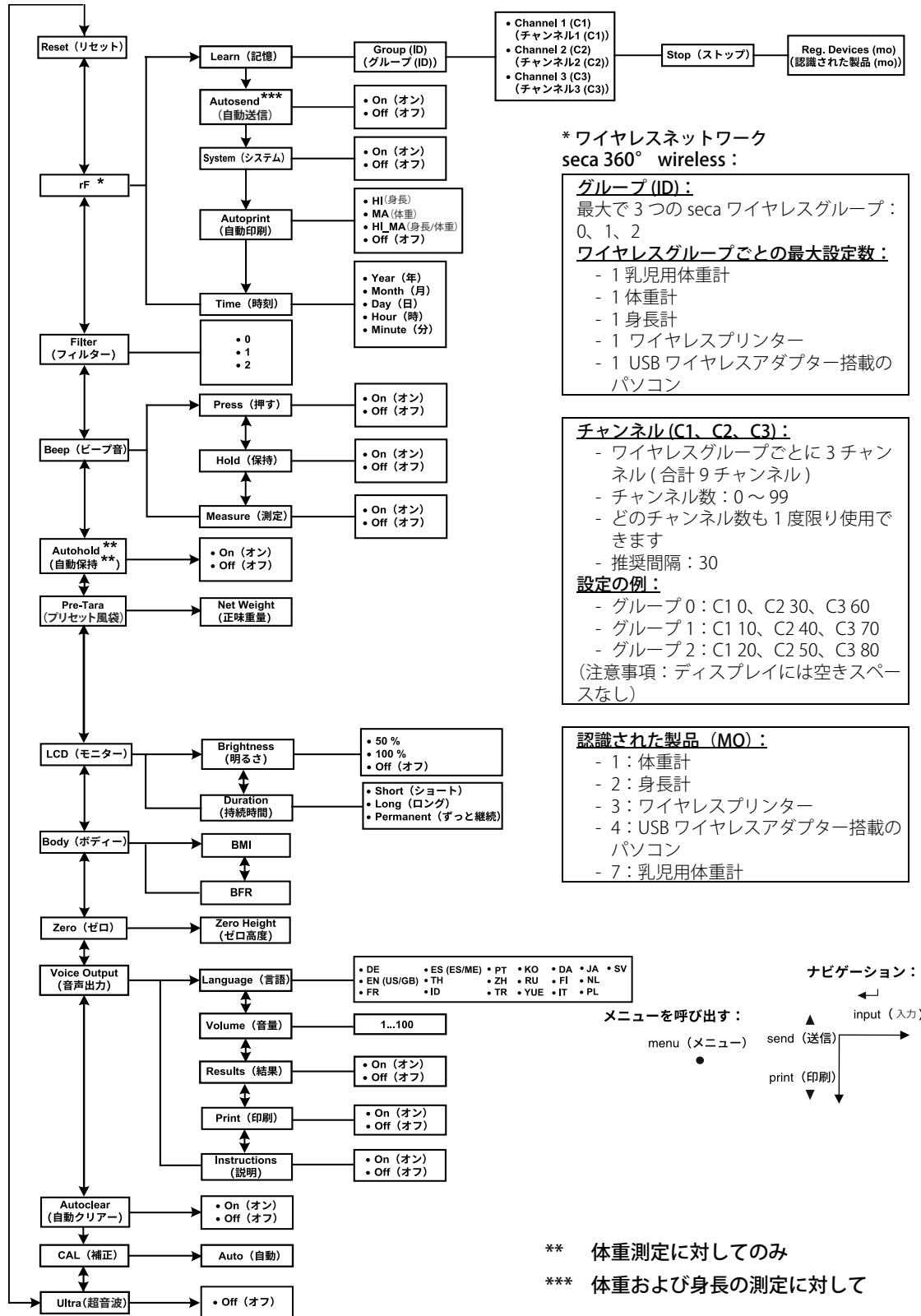


シンボル	意味
A	kg / g 体重値（キログラム/グラム）
B	人 乳児および幼児の体重測定のための母子シンボル（2 in 1 機能オン）
C	PT（風袋） プリセット風袋機能オン
D	NET 風袋引き機能オン
E	cm 身長（センチメートル）
F	ゼロ ゼロ値設定、すべての長さはゼロ値との対比で測定されます。零点を下回ると測定値はマイナスの記号と一緒に表示されます。
G	kg/m ² ボディマス指数（BMI）の度量単位

	シンボル	意味
H	%	体脂肪率 (Body-Fat-Rate (BFR)) の度量単位
I	☎	AC アダプターによる運転
J	BFR	Body-Fat-Rate (BFR) (体脂肪率)
K	BMI	Body-Mass-Index (BMI) (ボディマス指数)
L	HOLD (保持)	Hold (保持) 機能オン
M	♀ ♂	患者の性別
N	PAL (値)	患者の Physical-Activity-Level (身体活動レベル)
O	AGE (年齢)	患者の年齢
P	⚠	検定対象外の機能がオンになっている
Q	HOLD (保持)	保持機能がオンになっている
R	→1← →2←	現在使用中の重量測定領域： 1：負荷が少ない場合の詳細体重表示 2：最大秤量

3.4 マルチ機能ディスプレイのメニュー構造

この製品のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。そしてこの製品をお客様の使用条件に最もよく合うように設定することができます (詳細は 33 ページ以降、および 40 ページ以降)。



3.5 本製品の信号および音声出力

本製品の自動体重・身長測定により、患者は測定を自分自身で実施することができます。

測定プロセス中、本製品は音声および視覚信号ならびに音声出力により測定をサポートします。

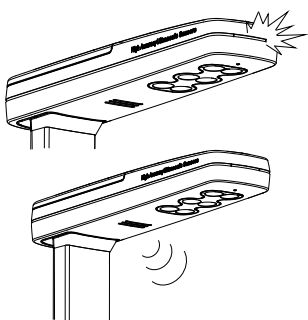
備考

音声出力用の言語は、製品のバリエーションによって異なります。

備考




本製品の音声信号および音声出力は、設定可能です。これについての詳細は、31 ページの「音声出力の設定（メニュー）」をご覧ください。




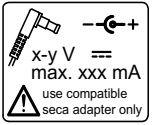



以下の表は、測定プロセスに沿って本製品の信号および音声出力の概観を提示しています：










信号 / 音声出力	意味
超音波ヘッドのステータス表示 LED が継続点灯	本製品の測定準備完了
「まっすぐ立って、前を見てください。」	患者への指示
超音波ヘッドのステータス表示 LED が消灯	測定プロセス実行
「動かないでください。測定を開始します。」	患者への指示
短いシグナル音	測定プロセス実行
長いシグナル音	測定プロセス完了
「貴方の体重は (...) キログラムです。貴方の身長は (...) センチメートルです。貴方の BMI は (...) です。」	測定結果のアナウンス
「測定が終了しました。測定台から降りてください。」	患者への指示
「印字された測定結果をお取りください。」	患者 / スタッフへの指示

3.6 型式ラベルの標示

テキスト / 表示マーク	意味
Mod	モデル番号
Approval Type	型式承認の型式名
S/N	シリアル番号、連番
ProdID	連番の製品識別番号
	取扱説明書に留意
	電子医療機器（タイプ B）（ヨーロッパ内）
	保護絶縁された製品、保護クラス II（ヨーロッパ内）
M	製品は指令 2009/23/EC に適合（ヨーロッパ内に限定）
e	質量値（検定済みモデル） <ul style="list-style-type: none"> 二つの連続する表示値の差異を示す 体重計の評価や検定に使用される

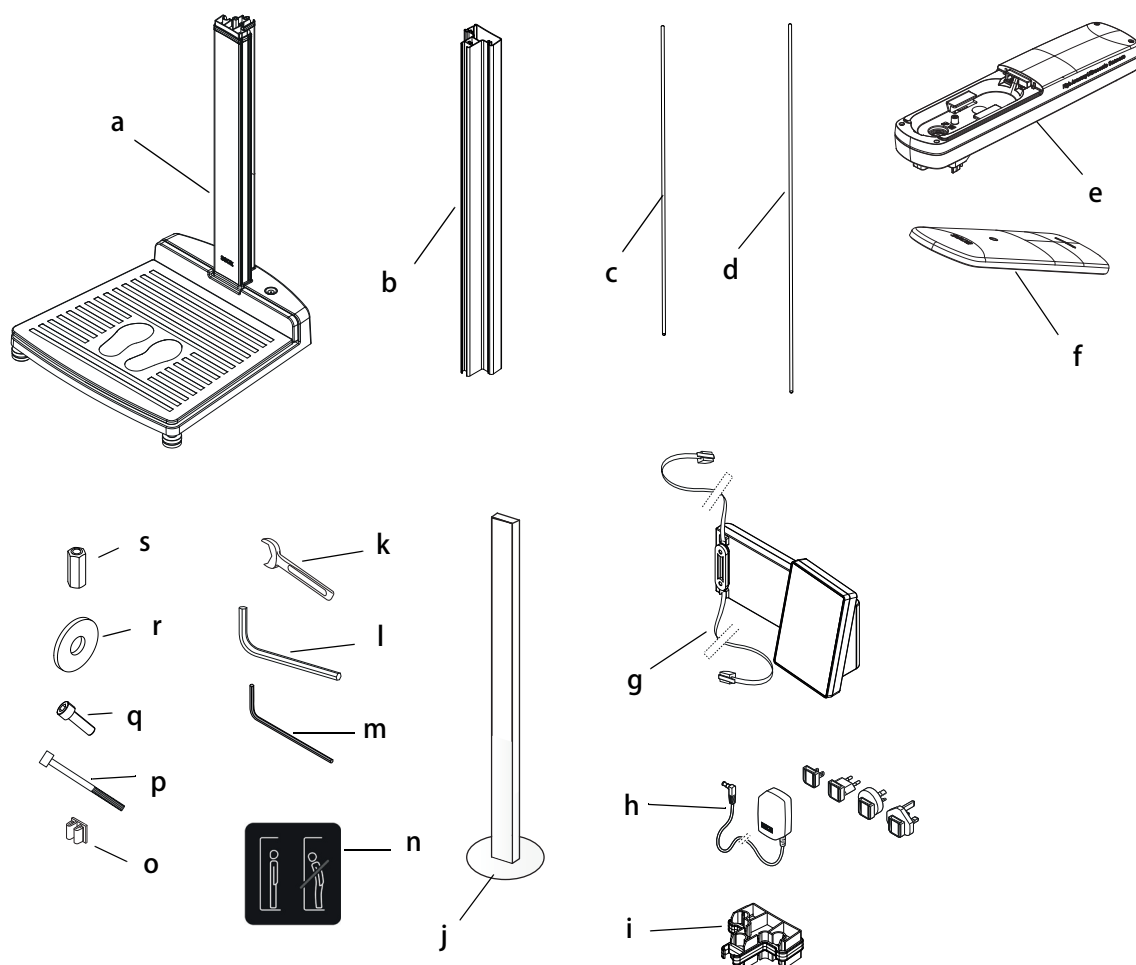
テキスト / 表示マーク	意味
→←	体重測定範囲 (検定済みモデル)
	<p>製品は EC 指令に適合しています</p> <ul style="list-style-type: none"> • M: 非自動重量計指令 2014/31/EU に準拠した適合マーク (検定済みモデル) • 16: (例: 2016 年): 適合宣言が行われ、CE マークが貼付された年 (検定済みモデル) • 0102: 度量衡に関する指定機関 (検定済みモデル) • 0123: 医療機器の指定機関
	<p>特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則に適合。 認証番号: 202WW09118012</p>
	指令 2014/31/EU に基づく 検定クラス III の体重計 (検定済みモデル)
	<p>電源接続ポートの型番プレート</p> <ul style="list-style-type: none"> • x-y V 必要な供給電圧 • max xx A 最大電力消費 •  電源プラグの極性に注意 •  製品は直流電流のみを使用
	製品を家庭ゴミとして廃棄しないこと

3.7 梱包材に表記されているマーク

	水から保護すること
	必ず製品の箱を矢印の向きが上になるようにする 直立状態で輸送・保管を行うこと
	取扱注意 投げたり落としたりしないこと
	輸送・保管時の最小 / 最大許可温度
	輸送・保管時の最小 / 最大許可湿度
	ここで梱包材を開きます
	梱包材はリサイクルプログラムで廃棄可能

4. ご使用になる前に …

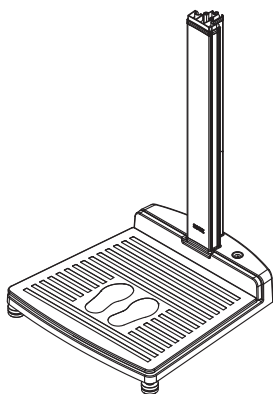
4.1 同梱物



No.	構成部品	個数
a	ボディー下部、第1のポールエレメント（組立済み）	1
b	ポールエレメント	2
c	ねじ棒（短）	1
d	ねじ棒（長）	1
e	超音波ヘッド	1
f	超音波ヘッドカバー	1
g	電源接続ケーブルおよびモジュラーケーブルを備えたマルチ機能ディスプレイ	1
h	ACアダプター	1
i	ポールジョイント	1
j	校正ロッド	1
k	オープンエンドレンチ	1
l	六角穴スパナ（大）	1
m	六角穴スパナ（小）	1
n	ステッカー：「適切な姿勢」	1
o	ケーブルクリップ	5
p	超音波ヘッドカバー用六角穴付き頭ねじ	1

No.	構成部品	個数
q	マルチ機能ディスプレイ用六角穴付きねじ	2
r	フラットワッシャー	1
s	ロングナット	2
-	マルチ機能ディスプレイ用カバー	1
-	取扱説明書、画像なし	1

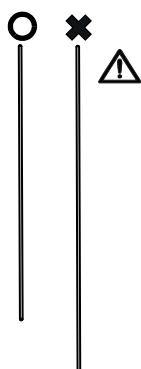
4.2 製品の組立て



工場から出荷される際、製品下部には既に第1のポールエレメントが組み立てられています。

それ以降の組み立ては、協力者と一緒に行ってください。組み立てた製品は高さがあるので、コンポーネントを床に寝かせ、完全に組み立てた後に製品を起すという組み立て方法をお奨めします。それには、以下の手順に従ってください：

第2のポールエレメントの組立て



気をつけて！

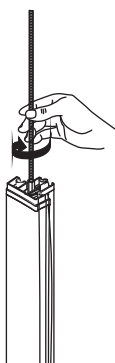
誤った組み立てによる製品の破損

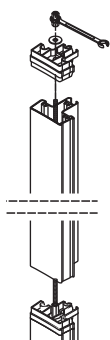
長いねじ棒と短いねじ棒を取り違えると、製品を規定通りに組み立てることができません。

▶ 第2のポールエレメントを組み立てるときには、短いねじ棒が組み立てられることを確認します（15ページ「同梱物」を参照）。

第2のポールエレメントを組み立てるには、次の手順に従ってください：

1. 短いねじ棒を、第1のポールエレメントのロングナットにしっかりとねじ込みます。





2. 第1のポールエレメントの上に、ねじ棒を使ってポールエレメントを押し入れます。
3. ポールジョイントを、ねじ棒がそのポールジョイントの内腔から頭を出すように、第2のポールエレメントの上にセットします。
4. そのねじ棒にロングナット取り付けます。
5. そのロングナットを固く締め付けます。

マルチ機能ディスプレイの組立て

マルチ機能ディスプレイをポールエレメントの溝に掛け、締めつけねじで固定します。

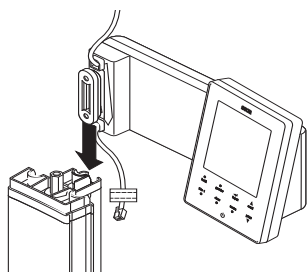
気をつけて！

マルチ機能ディスプレイの反射による誤作動

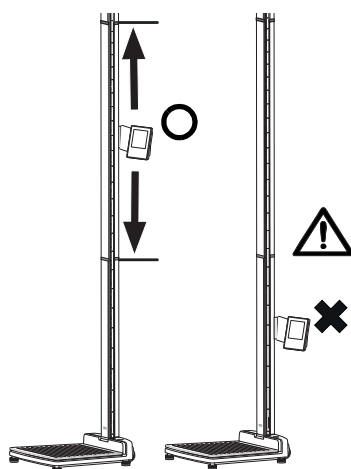
マルチ機能ディスプレイが第1のポールエレメントに取り付けられると、誤測定が生じます。

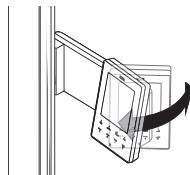
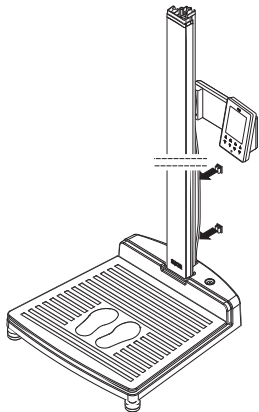
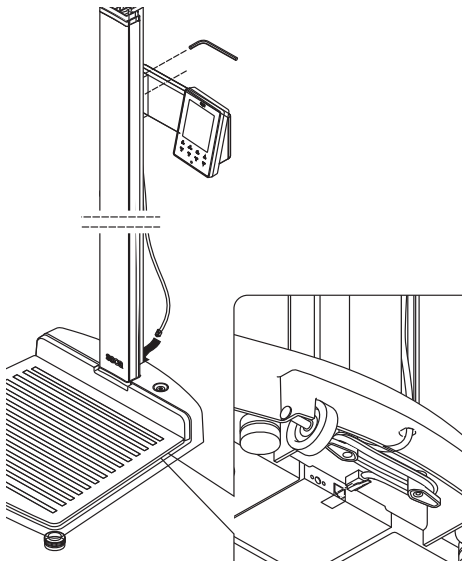
▶ マルチ機能ディスプレイは、第2のポールエレメントに取り付けます。

1. マルチ機能ディスプレイの溝用ナットをその第2のポールエレメントの溝にはめ込みます。

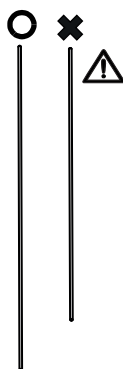


2. ディスプレイを、あなたにとって適切な高さにスライドさせます。





第3のポールエレメントの組立て



3. 2つの六角穴付きねじを締めつけ、マルチ機能ディスプレイを任意の位置に固定します。
4. マルチ機能ディスプレイの電源接続ケーブルをポールエレメントの溝の中を製品下部まで導きます。
5. 電源接続ケーブルを製品下部の穴を通して外に引き出します。

気をつけて！

誤った組み立てによる誤作動

ケーブルが、強い力で引っ張られる状態になっていると、誤った表示やディスプレイの故障が発生することがあります。

▶ すべてのケーブルは、強くたわむことがないように、またプラグが折れ曲がらないように設置してください。

6. 電源接続ケーブルのむき出しの端は、ボディー下部のケーブルホルダーに巻きつけてください。
7. 電源接続ケーブルのプラグを計量台の適切なジャックに差し込みます。
8. 電源接続ケーブルをポールエレメントの溝にある2つのケーブルクリップで固定します。

9. マルチ機能ディスプレイを、表示を読み取りやすいように向きを変えてください。

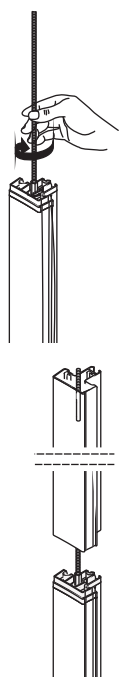
気をつけて！

誤った組み立てによる製品の破損

長いねじ棒と短いねじ棒を取り違えると、製品を規定通りに組み立てることができません。

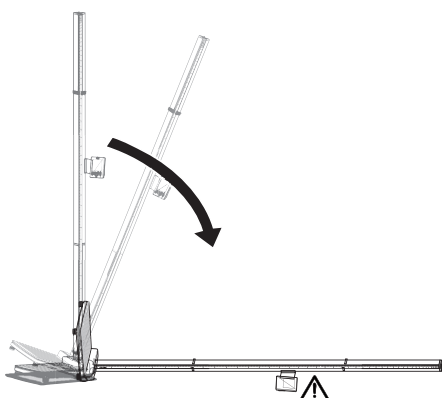
▶ 第3のポールエレメントを組み立てるときには、長いねじ棒が組み立てられることを確認します（15ページ「同梱物」を参照）。

第3のポールエレメントを組み立てるには、次の手順に従ってください：



1. 長いねじ棒を、第2のポールエレメントのロングナットにしっかりとねじ込みます。
2. 第2のポールエレメントのポールジョイントの上に、ねじ棒を使って第3のポールエレメントを押し入れます。

超音波ヘッドの組立て



超音波ヘッドは、第3のポールエレメント上に取り付けられ、マルチ機能ディスプレイのモジュラーケーブルと接続されます。

気をつけて！

誤った組み立てによる製品の破損

第3のポールエレメントは、第2のポールエレメントの上に緩く置かれています。

- ▶ 本製品を床に寝かせる時、第3のポールエレメントをしっかり持ってください。
- ▶ 超音波ヘッドを取り付ける前に、第3のポールエレメントが正しく取り付けられていることを確認してください。

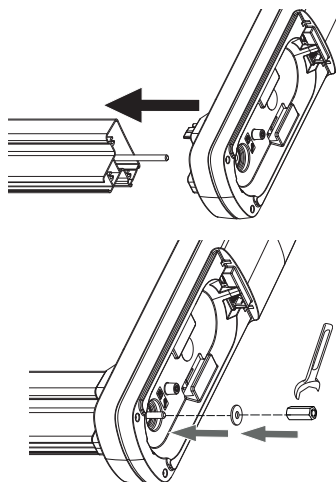
気をつけて！

マルチ機能ディスプレイの故障による誤作動

本製品を寝かせるとき、マルチ機能ディスプレイを床に直接置くと破損する可能性があります。

- ▶ 本製品はゆっくりと、毛布などのやわらかい下敷きの上に慎重に寝かせます。

1. 本製品を傾け、床上に慎重に寝かせます。
2. 超音波ヘッドをねじ棒の空いている末端の上に差し込みます。



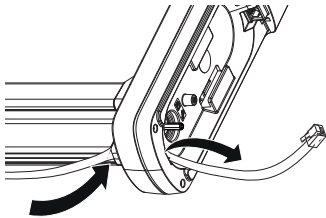
3. フラットワッシャーをそのねじ棒の上に設置します。
4. そのねじ棒にロングナットを取り付けます。
5. そのロングナットを固く締め付けます。

気をつけて！

誤った組み立てによる製品の破損および誤作動

ロングナットを超音波ヘッドに十分にしっかりと締め付けないと、ポールエレメントは互いにぐらつきます。本製品は不安定になり、誤測定が発生します。

- ▶ ロングナットは、ポールが互いにぐらつかないように、かつポールジョイントと第3のポールエレメントの間に隙間が生じないように締め付けます。

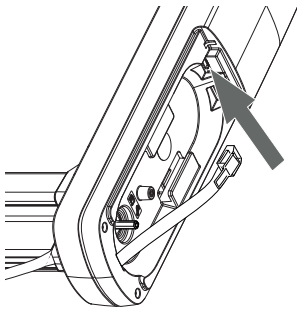


6. マルチ機能ディスプレイのモジュラーケーブルを超音波ヘッドのケーブルガイドに通します。

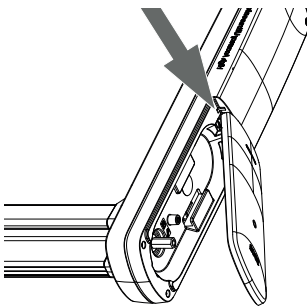
気をつけて！

モジュラーケーブルが挟まれていることによる製品の破損および誤作動

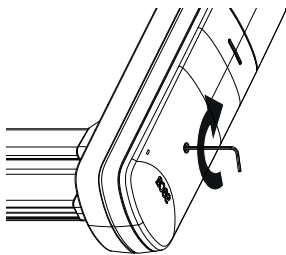
- ▶ カバーをかける前には、カバーとケーブルボックスとの間にモジュラーケーブルが挟まれていないようにモジュラーケーブルをケーブルボックス内に配置します。



7. モジュラーケーブルのプラグを左のモジュラージャックに差し込みます。
8. モジュラーケーブルが長すぎる場合、超音波ヘッド内に巻いて収めてください。



9. 横の図のように、超音波ヘッドカバーを取り付けます。



10. 横の図のように、超音波ヘッドカバーをしっかりとねじで固定します。

製品の設置



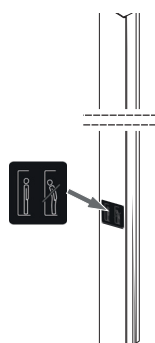
1. 製品を再び慎重にまっすぐに起こします。

気をつけて！**フォースシャントによる誤測定**

ガラスプレートが製品下部だけに載っているのではなく、例えばケーブルによって妨害されていると体重を正しく測定することができません。

- ▶ 製品の脚部調整ねじだけが床と接触しているように製品を設置してください。
- ▶ 本製品は、ガラスプレートが製品下部のみに接触しているように設置してください。

2. 製品は堅い平面上に設置してください。



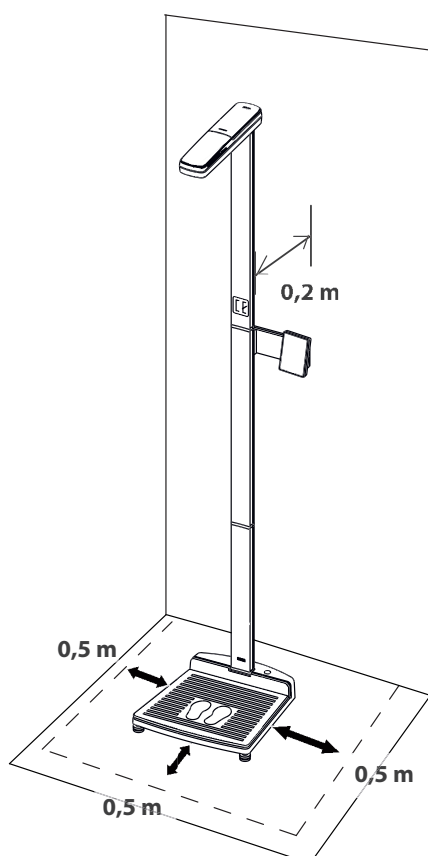
3. ステッカー「適切な姿勢」を第3のポールエレメントに貼り付けます。

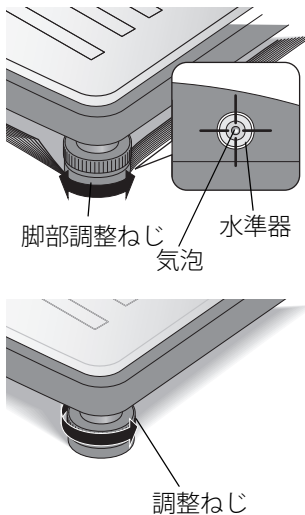
気をつけて！**反射によるエラーメッセージ**

物体または人が本製品の至近の場所にあると誤測定の原因になります。

- ▶ 測定プロセス中は、体重計の前および横 0.5メートル以内に物体がない、または人がいないようにしてください。
- ▶ 本製品が壁から 0.2メートル以上離れていることを確認してください。
- ▶ 患者が頭頂部に髪飾りをつけていないことを確認してください。

4. 図に表現された領域を、例えばカラーの粘着テープでマークします。





5. 脚部調整ねじを回して、製品の位置を調整します。
水準器の気泡が正確に円の中央に来るように調整してください。

6. 調整ねじを矢印方向に回して締めます。
脚部調整ねじは、位置ずれを防止するよう設計されています。

製品の消毒

- ▶ 以下のコンポーネントは、最初の使用開始前に、43 ページの「消毒」の節に従って消毒してください：
 - ポールおよびマルチ機能ディスプレイ
 - 超音波ヘッド
 - ポールエレメント

4.3 製品の移動

この製品は二つのキャスターを備えており、これにより短距離の移動が可能です。



注意！

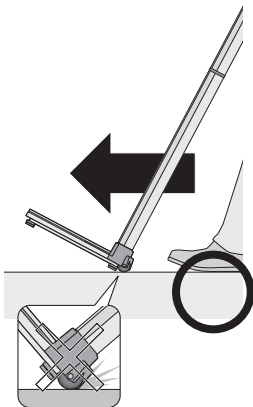
負傷の恐れおよび製品の破損

移動するためには、本製品を傾けます。製品を組み立てたときの高さが高いため、負傷や製品の破損の原因となる恐れがあります。

- ▶ 他の人がすぐ近くにいないかを確認してください。
- ▶ すぐ近くに物体がないかを確認してください。

1. AC アダプターをコンセントから引き抜いてください。
2. キャスターで自由に動かせるようになるまで本製品を傾けます。
3. 製品を新たな設置場所に移動します。
4. 製品をまっすぐに起こします。
5. AC アダプターをコンセントに差し込んでください。

正確な測定結果を得るために、設置場所の床は平坦で安定していなければなりません。木材フローリングのようなやわらかい床板は、患者の体重でたわみ、測定結果に誤りを生じさせます。



4.4 電源供給の確保

本製品への電源供給は、ACアダプターで行います。

ACアダプターの接続部は、製品下部の裏側にあります。電源供給は、以下の手順に従ってください：



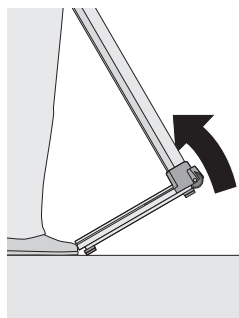
注意！

負傷の恐れおよび製品の破損

製品を必ず傾けてください。製品を組み立てたときの高さが高いため、負傷や製品の破損の原因となる恐れがあります。

- ▶ 他の人がすぐ近くにいないかを確認してください。
- ▶ すぐ近くに物体がないかを確認してください。

1. 電源接続部のジャックに手が届くようになるまで本製品を傾けます。

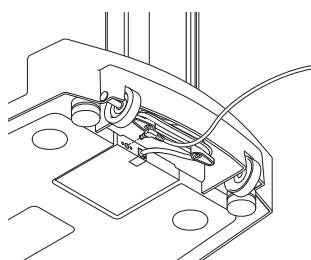


気をつけて！

電圧が高すぎると製品の破損

市販のACアダプターでは、そこに記載されているよりも高い電圧を供給することがあります。その場合、製品が過熱し、発火が生じたり、ヒューズが飛んだり、ショートが生じるおそれがあります。

- ▶ 供給される電圧が12Vに調整されているseca純正のACアダプターを必ずご使用ください。



2. ACアダプターの接続プラグを体重計の接続ジャックに差し込みます。
3. 製品を再び慎重にまっすぐに起こします。
4. ACアダプターを電源コンセントに差し込みます。

5. 操作

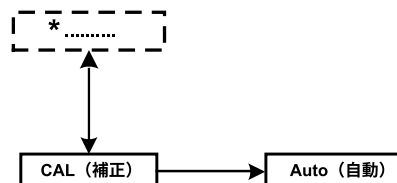
5.1 身長測定の前補正

本製品を使って初めて測定を行う前には、必ず身長測定を補正します。これは、この製品に基準尺度を「教える」ことで実施できます。

注意事項：

誤りのない測定結果を得るために、補正は少なくとも年 1 回は実施します。

メニューでは、身長測定の前補正を自動実施することができます。



*マルチ機能ディスプレイのメニューの中のナビゲーションについての情報は、30 ページをご覧ください。

1. 体重計に何も載せられていないことを確認します。
2. 製品の電源をオンにします (25 ページ「製品電源のオン切換え」を参照)。
3. メニューで項目「CAL」を選択します。
4. 選択を確定します。
5. 矢印ボタン (**hold/zero (保持 / ゼロ)**) でメニューポイントの「Auto」を選択します。
6. 選択を確定します。
「CAL 0,0」というメッセージが表示されます。
7. 「CAL 81,5」というメッセージが表示されるまで待ちます。
8. 製品下部の足のピクトグラムの中央に校正ロッドを置きます。

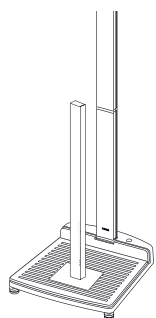
注意事項：

補正手順実行中は、本製品の至近に物がなく、または人がいないことを確認します (21 ページ「製品の設置」を参照)。

CAL

AUTO

BUSY



rEAdY

9. 「rEAdY」というメッセージが表示されるまで待ちます。


注意事項：

「rEAdY」というメッセージの代わりに「FAIL」というメッセージが表示されたときには、44 ページ以降の「こんなときはどうする？」の節の注意事項を読み、補正手順を繰り返します。

10. 製品下部から校正ロッドを外します。
本製品は自動的に再起動し、測定準備が整います。

5.2 測定

製品電源のオン切換え

1. 体重計に何も載せられていないことを確認します。
2. マルチ機能ディスプレイのスタートボタン  を押します。
ディスプレイのすべての項目が短時間表示され、その後 **seca** の文字がディスプレイに表示されます。
ディスプレイに **0.00** と表示されれば体重計は準備完了です。

測定プロセスの実行

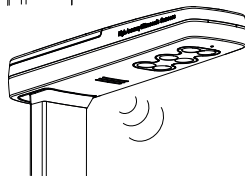
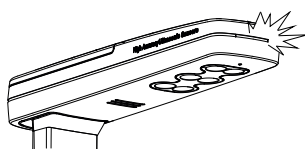
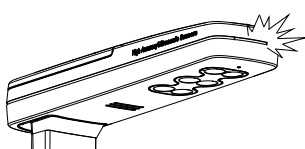
以下に説明する測定のプロセスは、工場設定を前提としています。設定方法は、31 ページ以降の「音声出力の設定 (メニュー)」および 33 ページ以降の「その他の機能 (メニュー)」の節に記載されています。

気をつけて！

反射によるエラーメッセージ

物体または人が本製品の至近の場所にあると誤測定の原因になります。

- ▶ 測定プロセス中は、体重計の前および横 0.5 メートル以内に物体がない、または人がいないようにしてください。
- ▶ 本製品が壁から 0.2 メートル以上離れていることを確認してください。
- ▶ 患者が頭頂部に髪飾りをつけていないことを確認してください。



1. 製品の電源をオンにします (「製品電源のオン切換え」を参照)。
2. 超音波ヘッドのステータス LED が点灯していることを確認します。
3. 権限のない者が測定結果を読むのを防止するには、必要に応じてマルチ機能ディスプレイ用カバーを取り付けます。
4. 患者に体重計に乗ってもらってください。
5. 患者が測定ステーションに前向きに乗り、まっすぐな姿勢をとっていることを確認します。
6. 計量台の患者がマークされた領域 (足のピクトグラムに) に立っていることを確認します。
7. 患者に製品から出る指示に従うようお願いします。
8. 測定結果を読み取り、プリントアウトされた測定結果を取ります。

注意事項：

測定結果は、seca ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合されているときに、プリントアウト可能です。プリンターをワイヤレスグループに統合する方法についての説明は、39 ページ以降の「ワイヤレスネットワーク seca 360° wireless」をご覧ください。

キーロックのオン/オフ切換え



キーロックを使用して、電源をオンにした後にマルチ機能ディスプレイで意図せざる設定変更が行われるのを防止します。

注意事項：

- マルチ機能ディスプレイ上にはキーロック・オン自体のシンボルは表示されません。
- メニューでのナビゲーション中は、キーロックをオンにすることはできません。


メニュー ●

メニュー ●

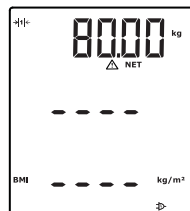
1. 製品がオフになっていることを確認します。
2. マルチ機能ディスプレイのスタートボタン  を押します。
3. **seca** という表示がディスプレイに現れるまで待ちます。
4. マルチ機能ディスプレイの**メニュー**ボタンを押します。
キーロックがオンに切り換わりました。
5. キーロックを再び解除するには、マルチ機能ディスプレイの  ボタンを押して本製品を再起動します。
6. **seca** という表示がディスプレイに現れるまで待ちます。
7. マルチ機能ディスプレイの**メニュー**ボタンを押します。
キーロックがオフに切り換わりました。

乳児 / 幼児の体重の測定 (2 in 1)

2 in 1 機能を使えば、大人が子供を抱きかかえた状態で、乳児及び幼児の体重を測定することができます。それには、以下の手順に従ってください：

1. 体重計に何も載せられていないことを確認します。
2. 製品の電源をオンにします (25 ページ「製品電源のオン切換え」を参照)。
3. 大人に体重計に乗ってもらってください。
大人の体重が表示されます。
4. **2 in 1** ボタンを押します。
これで体重が風袋されました。
0.00、 表示マーク (検定不能機能)、NET というメッセージがディスプレイに表示されます。

2 in 1 ●





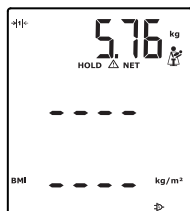
気をつけて！

風袋重量が変わることによる誤測定

2 in 1 機能による子供の体重測定は、風袋引きした大人以外と一緒に行われると正しく測定できません。

- ▶ 子供の体重測定では、つねに風袋引きをした大人本人が子供を抱いて行っているかどうか確認してください。
- ▶ 風袋引きした大人の重量が、例えば服を脱ぐなどして変化していないかを確認してください。

5. 風袋した大人に子供を抱いた状態で体重計に乗ってもらってください。
すると子供の体重が表示されます。
 という表示マーク、 という表示マーク、それに「HOLD (保持)」および「NET」というメッセージが表示されます。
6. 大人に子供と一緒に体重計から降りてもらってください。



2 in 1 ●

7. **2 in 1** 機能をオフにするには、**2 in 1** ボタンを押すか、体重計のスイッチをオフにします。

体重の継続表示 (HOLD)

HOLD (保持) 機能をオンにしていると、体重計から降りても体重値が表示され続けます。体重値の記録を後にし、先に患者のケアをすることができます。

注意事項：

保持機能は、体重値のためだけに手動でオンにすることができます。身長値は、計量台から降りるまでの間しか表示されません。

1. 体重計に何も載せられていないことを確認します。
2. 製品の電源をオンにします (25 ページ「製品電源のオン切換え」を参照)。
3. 患者に体重計に乗ってもらってください。
4. **保持** ボタンを押します。
体重値が安定するまで表示が点滅します。安定すると体重値が表示されたままになります。△表示マーク (検定不能機能) および「HOLD (保持)」というメッセージが表示されます。
5. 保持機能をオフにするには**保持** ボタンを押します。
△表示マークおよび「HOLD (保持)」というメッセージは表示されなくなります。

●
保持



●
保持



注意事項：

自動保持機能がオンになっていると体重値は、測定結果が安定した後、自動的に表示されたままになります (37 ページ「自動保持機能をオンにする (AHold)」を参照)。

患者のデータを入力 (インプット) する

患者のデータである年齢、性別、身体活動レベル (PAL) をマルチ機能ディスプレイで直接入力することができます。測定結果を **seca 360° wireless** システムからワイヤレスプリンターに転送すると患者のデータも一緒に送られます。

患者のデータに基づいてワイヤレスプリンターは測定結果を分析します。ワイヤレスプリンターの設定により、測定結果と評価はプリントアウトされます。これにより診断がかなり容易になります。

注意事項：

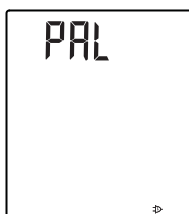
ワイヤレスプリンター設定の詳細は、プリンターの取扱説明書でご確認ください。

1. 製品の電源をオンにします (25 ページ「製品電源のオン切換え」を参照)。
2. **エンターボタン入力**を押します。
製品スタート後の最初の呼び出しの際、メニューポイントの「PAL (身体活動レベル)」 (Physical-Activity-Level) がディスプレイに表示されます。
製品のスイッチがオンになっている間に再度呼び出しが行われると、最後に選択されたメニューポイントがディスプレイに表示されます。
3. 矢印ボタン**送信**または**印刷**で1つのメニューポイントを選んでください：

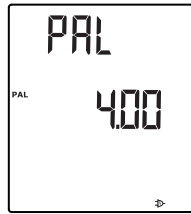
- PAL：身体活動レベル (Physical-Activity-Level)
- AGE：年齢
- GEn：性別

←
入力

←
入力



▲送信
印刷
▼
←
入力



4. 選択を確定します。
前回の測定の際に使用された値が表示されます。その値を使うか矢印ボタンで別の値を設定することができます。

機能	設定
PAL 身体活動レベル (Physical-Activity-Level)	1.0 ~ 5.0
AGE (年齢)	<ul style="list-style-type: none"> • 3歳までは月数を単位として • 18歳までは半年を単位として • 18歳以降は年を単位として
GEn (性別)	<ul style="list-style-type: none"> • 男性 • 女性

5. 選択を確定します。
入力機能は自動的に終了します。
6. 「AGE (年齢)」と「GEn (性別)」について設定する場合にも、この手続きを繰り返してください。

患者の性別を入力 (gender (性別))

性別ボタンを使い、患者の性別を直接入力することができます。

注意事項：

この設定は、「Input\gender (インプット\性別)」で行った設定に上書きされます。

1. 「男」と「女」を切り替えるには、**性別**ボタンを押します。
2. 性別表示マークの表示を削除するには、**クリア**ボタンを押します。

●
性別



Body Mass Index (ボディマス指数) (BMI) の算定

BMI (体格指数) は、身長と体重の相関関係を表わします。ここでは最も健康的だとする許容範囲が挙げられます。

1. 製品の電源をオンにします (25 ページ「製品電源のオン切換え」を参照)。
2. マルチ機能ディスプレイで「BMI」算定法が設定されていることを確認してください (34 ページ「BMI と BFR の切換え」を参照)。
3. 患者に測定ステーションの上に立ってもらってください。
患者の身長、体重、および BMI は、音声出力でアナウンスされ (25 ページ「測定プロセスの実行」を参照)、かつディスプレイに表示されます。
4. 体重が表示されたままにするには、**保持**ボタンを押します。
患者の体重が表示されたままになります。

●
保持

注意事項：

自動保持機能がオンになっていると体重値は、測定結果が安定した後、自動的に表示されたままになります (37 ページ「自動保持機能をオンにする (AHold)」を参照)。

5. 患者に測定ステーションから降りてもらってください。
6. 測定結果を読み取ります。seca ワイヤレスプリンターが接続されている場合、プリントアウトされた測定結果をお取りください。
7. **クリア**ボタンを押します。
患者のデータ、測定結果、および BMI が削除されます。そうすることで以降の患者に古いデータが適用され誤った BMI が導き出されるのを回避します。

●
クリア

注意事項：

「Autoclear (自動クリアー)」機能がオンになっていると測定結果および BMI は、5 分後に自動的に削除されます (34 ページ「値の自動削除 (AClr)」を参照)。

Body-Fat-Rate (BFR) (体脂肪率) の算定

BFR (体脂肪率) は、身長、体重、性別の相関関係を表わします。ここでは最も健康的だとする許容範囲が挙げられます。

注意事項：

BFR 機能がオンになっていると測定結果の音声出力は行われません。

1. マルチ機能ディスプレイで「BFR」算定法が設定されていることを確認してください (34 ページ「BMI と BFR の切換え」を参照)。
2. 「男」と「女」を切り替えるには、**性別** ボタンを押します。
3. 患者に測定ステーションの上に立ってもらってください。
患者の身長、体重、BFR が表示されます (25 ページ「測定プロセスの実行」を参照)。
4. **保持** ボタンを押します。
患者の体重が表示されたままになります。

注意事項：

自動保持機能がオンになっていると体重値は、測定結果が安定した後、自動的に表示されたままになります (37 ページ「自動保持機能をオンにする (AHold)」を参照)。

5. 患者に測定ステーションから降りてもらってください。
6. 測定結果を読み取ります。seca ワイヤレスプリンターが接続されている場合、プリントアウトされた測定結果をお取りください。
7. **クリア** ボタンを押します。
患者のデータ、身長、BFR が削除されます。そうすることで以降の患者に古いデータが適用され誤った BFR が導き出されるのを回避します。

注意事項：

「Autoclear (自動クリアー)」機能がオンになっていると測定結果および BFR は、5 分後に自動的に削除されます (34 ページ「値の自動削除 (AClr)」を参照)。

●
性別

○

●
保持

●
クリアー

●

測定結果をワイヤレス受信製品に送信する

測定ステーションがワイヤレスネットワーク **seca 360° wireless** に統合されていると、ボタンを押すだけで測定結果を受信可能な製品 (例えば USB ワイヤレスアダプター付パソコン) に送信することができます。

- ▶ 矢印ボタン**送信**を押します。

注意事項：

自動送信 (ASEnd) がオンになっていると、測定結果は測定プロセスごとに自動的にワイヤレス受信製品に送信されます (41 ページ「自動送信をオンにする (ASEnd)」を参照)。
測定結果は、受信態勢の整った製品に送信されます。

▲
送信

測定結果の印刷

測定ステーションが seca ワイヤレスプリンターに接続されていると、測定結果を直接プリントアウトすることができます。

- ▶ 矢印ボタン**印刷**を押します。

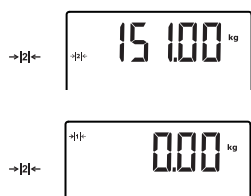
注意事項：

自動印刷機能がオンになっていると、測定結果は測定プロセスごとに自動的にワイヤレスプリンターに送信されます (42 ページ「印刷オプションを選択する (APrt)」を参照)。その場合、次のアナウンスが聞こえます：「印字された測定結果をお取りください」。
測定結果が印刷されます。

●
印刷

▼

重量測定領域の自動切換え



製品の電源オフ

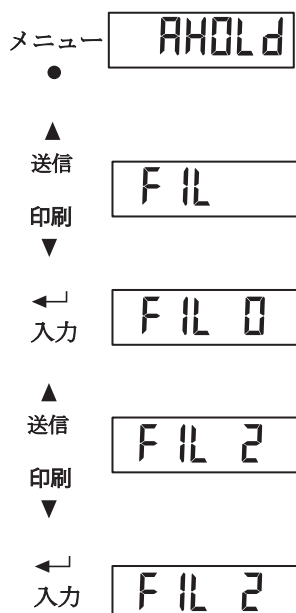
この体重計には2つの重量測定領域があります。重量測定領域1 (→|←) では、測定可能重量は限られますがより細かい体重表示が可能です。重量測定領域2 (→|←) では体重計の負担能力を最大限まで利用することができます。

体重計のスイッチを入れると重量測定領域1がオンになります。特定の体重値を超えると、体重計は自動的に重量測定領域2に切り換わります。

再び重量測定領域1に戻すには、次の手順を行ってください：

- ▶ 体重計からすべてのものを降ろします。
重量測定領域1が再びオンになります。
- ▶ マルチ機能ディスプレイのスタートボタン (⏻) を押します。

5.3 メニュー内を移動する



1. 製品の電源をオンにします (25 ページ「製品電源のオン切換え」を参照)。
2. **メニュー** ボタンを押します。
最後に選択したメニューポイントがディスプレイに表示されます (ここでは自動保持「AHOLD」)。
3. 矢印ボタン**送信**または**印刷**を、ご希望のメニューポイントがディスプレイに表示されるまで何度も押します (ここでは抑制「FIL」)。
4. エンターボタン (**入力**) で選択を確定します。
メニューポイントもしくはサブメニューに関する現在の設定が表示されます (ここでは段階「0」)。
5. 設定を変更し、または他のサブメニューを呼び出すには、矢印ボタン**送信**または**印刷**を、ご希望の設定 (ここでは段階「2」) が表示されるまで何度も押してください。
6. エンターボタン (**入力**) でその設定を確定します。
メニューは自動的に終了します。
7. 他の設定を行うには、メニューを新たに呼び出し、この手続きを繰り返します。

注意事項：

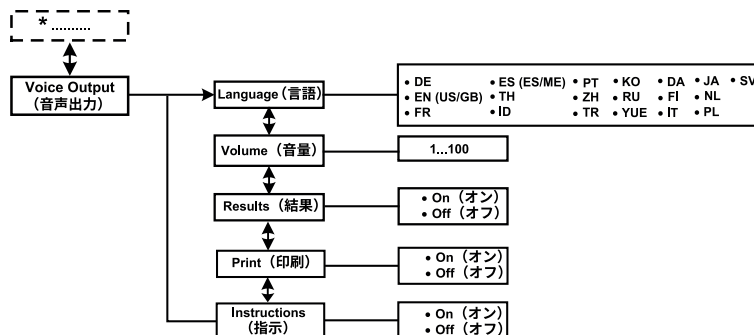
- **メニュー** ボタンを短く押すとメニューレベルが元に戻ります。
- **メニュー** ボタンを長く押すといつでもメニューから抜け出すことができます。
- 約 24 秒間ボタンが押されないままだとメニューは自動的に終了します。

5.4 音声出力の設定 (メニュー)

メニューでは、必要に応じて音声出力およびシグナル音を設定できます。

注意事項：

本製品で使用可能な言語は、タイプによって異なります。



*マルチ機能ディスプレイのメニューの中のナビゲーションについての情報は、30ページをご覧ください。

言語の選択 (LAng)

音声出力のための言語を選択することができます。

VOICE

LANG

dE

1. メニューで項目「VOICE」を選択します。
2. 選択を確定します。
3. 矢印ボタン (送信 / 印刷) でメニューポイントの「LANG」を選択します。
4. 選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
5. ご希望の設定を選択します：
6. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

音量の設定 (VOL)

音声出力の音量を調整することができます (0= オフ、100= 最大)。

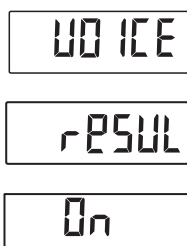
VOICE

VOL

20

1. メニューで項目「VOICE」を選択します。
2. 選択を確定します。
3. 矢印ボタン (送信 / 印刷) でメニューポイントの「VOL」を選択します。
4. 選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
5. 設定を変更し、または他のサブメニューを呼び出すには、矢印ボタン (送信 / 印刷) を、ご希望の設定 (ここでは音量「20」) が表示されるまで何度も押してください。
6. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

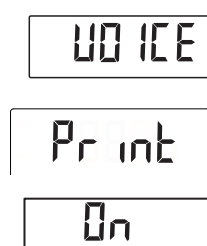
測定結果のアナウンスのオン/オフ (reSUL)



本製品は、測定プロセスのたびに測定結果（体重、身長、BMI）がアナウンスされるように設定することができます。

1. メニューで項目「VOICE」を選択します。
2. 選択を確定します。
3. 矢印ボタン（送信 / 印刷）でメニューポイントの「reSUL」を選択します。
4. ご希望の設定を選択します：
 - On（オン）
 - Off（オフ）
5. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

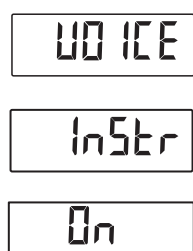
アナウンス「印字された測定結果をお取りください (Print)」のオン/オフ



seca ワイヤレスプリンターが接続されていると、測定後に、測定結果のプリントアウトを取るよう指示するアナウンスを出すよう、本製品を設定することができます。

1. メニューで項目「VOICE」を選択します。
2. 選択を確定します。
3. 矢印ボタン（送信 / 印刷）でメニューポイントの「Print」を選択します。
4. ご希望の設定を選択します：
 - On（オン）
 - Off（オフ）
5. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

患者への指示のアナウンスのオン/オフ (InStr)



測定プロセスにおいて患者への指示がアナウンスされるように本製品を設定することができます。

注意事項：

患者に理解できる言語を選びます（31 ページ「言語の選択 (LAng)」を参照）。

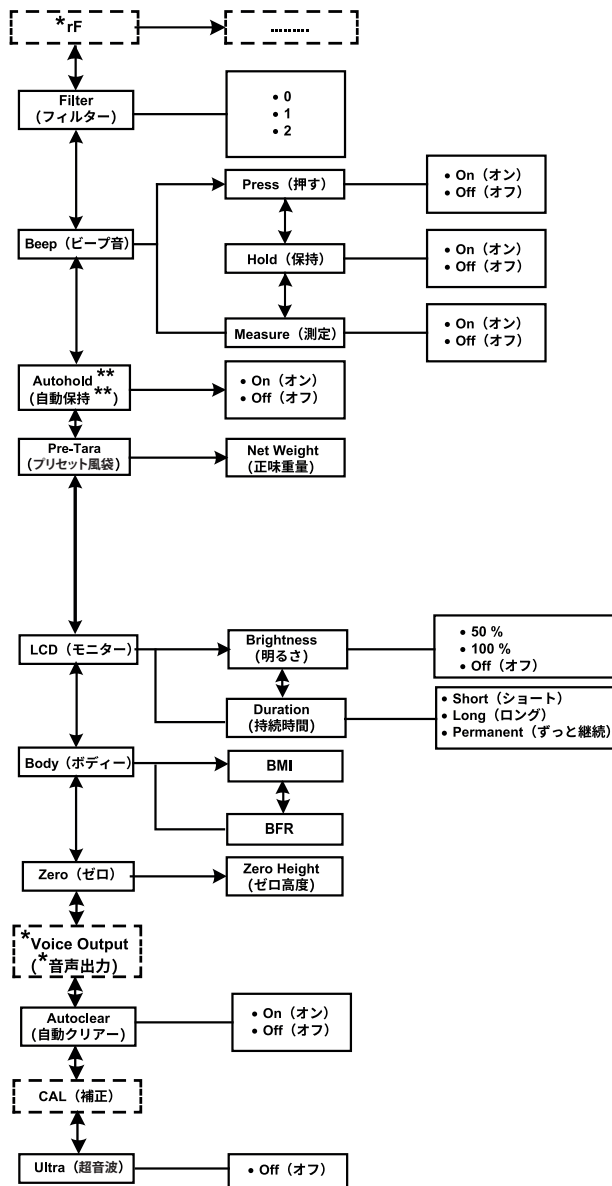
1. メニューで項目「VOICE」を選択します。
2. 選択を確定します。
3. 矢印ボタン（送信 / 印刷）でメニューポイントの「InStr」を選択します。
4. ご希望の設定を選択します：
 - On（オン）
 - Off（オフ）
5. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

シグナル音の設定

- ▶ 37 ページの「シグナル音をオン/オフにする (bEEP)」の記載にしたがって、シグナル音を設定します。

5.5 その他の機能 (メニュー)

この製品のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。そしてこの製品をお客様の使用条件に最もよく合うように設定することができます。



*メニューポイント「rF」の説明については、40 ページ以降の「ワイヤレスグループ内の測定ステーションの運用 (メニュー)」をご覧ください。
 メニューポイント「Voice Output」の説明については、31 ページの「音声出力の設定 (メニュー)」をご覧ください。

注意事項：

メニューでどのようなナビゲーションを受けるかについての説明は、30 ページの「メニュー内を移動する」をご覧ください。

値の自動削除 (ACLR)

古い測定結果と患者のデータが残っていると、誤った BMI または BFR 算定が行われます。下記の測定結果および患者のデータが 5 分後には自動的に削除されるように本製品を設定することができます。

- 性別
- 身体活動レベル (PAL)
- 年齢
- 身長
- BMI
- BFR

注意事項：

- 次の測定のために PAL、年齢、性別 (入力機能) を入力したい場合、最後の測定の値が再度提示されます (27 ページ「患者のデータを入力 (インプット) する」を参照)。
- モデルによっては、この機能が工場出荷時にオンになっていることがあります。ご希望に応じて、この機能をオフにすることができます。

ACLR

On

1. メニューで項目「ACLR」を選択します。
2. 選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
3. ご希望の設定を選択します：
 - On (オン)
 - Off (オフ)
4. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。
測定の 5 分後にはその都度、患者のデータ、身長、BMI ないし BFR が削除されます。代わりに「----」と表示されます。
性別表示マークが消えます。

超音波測定のオフ

計量機能のみを使用したい場合、身長測定をオフにすることができます。

注意事項：

超音波測定をオフにすると、本製品を再起動したときに自動的にオンに戻ります。

ULtrA

OFF

1. メニューで項目「ULtrA」を選択します。
2. 選択を確定します。
3. ご希望の設定を選択します：
 - Off (オフ)
4. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

BMI と BFR の切換え

測定ステーションが Body Mass Index (BMI) (ボディマス指数) と Body-Fat-Rate (BFR) (体脂肪率) のどちらを算定するかを選択することができます。現在の設定がマルチ機能ディスプレイに表示されたままになります。

算定は、測定ステーションが患者の体重および身長を測定すると直ちに自動的に行われます。

注意事項：

BFR 機能がオンになっていると測定結果の音声出力は行われません。

body

1. メニューで項目「bodY」を選択します。

2. 選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
3. BMI と BFR を切り換えるには矢印ボタン**送信**または**印刷**を押してください。
4. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。
変更された設定がマルチ機能ディスプレイに表示されたままになります。

ディスプレイのバックライトの設定 (LCD)

ディスプレイのバックライトの継続時間と明るさを変更することができます。

1. メニューで項目「LCD」を選択します。
2. 選択を確定します。
3. メニューポイントを1つ選択します（ここでは、dUr）：
 - dUr：継続時間
 - brL：明るさ
4. 選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
5. ご希望の設定を選択します：

機能	設定
継続時間	<ul style="list-style-type: none"> • Short (短) (約 15 秒) • Long (長) (約 150 秒) • Perm (継続的に)
明るさ	<ul style="list-style-type: none"> • 50 % • 100 % • Off (オフ)

6. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。
7. 二つ目の機能に対しても設定を行いたい場合には、この手続きを繰り返してください。

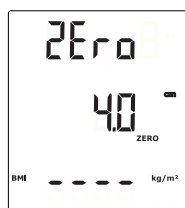
追加身長継続的保存 (ZEro)

ゼロ機能 (ZEro) を使って追加身長を保存しておき、測定結果から自動的に差し引くことができます。例えば靴ソールの平均的高さを保存しておき、患者が靴を履いたまま体重を測定した場合、その測定結果から靴ソールの高さを差し引くことができます。

1. メニューで項目「ZEro」を選択します。

最後に設定した追加身長がディスプレイに点滅表示されます。「ZEro」の表示がディスプレイに現れます。

2. 保存された値を使うか矢印ボタンで別の値を設定することができます。
3. 選択を確定します。



設定された追加身長（ここでは、4 cm）が表示されます。



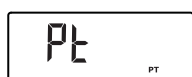
4. 患者に体重計に乗ってもらってください。
患者の身長が表示されます。
保存されている追加身長が自動的に差し引かれます。
5. この機能をオフにするには、メニューで項目「ZEro」をもう一度選択します。
6. 選択を確定します。
設定された追加身長が表示されなくなります。
機能がオフになりました。

注意事項：

記録作成のため、相対測定の結果を、BMI や BFR を自動的に算定する製品に転送する場合、この二つのパラメータに対しては妥当な値は明らかになりません。

追加重量を保存したままにする (Pt)

プリセット風袋機能 (Pt) により追加重量を保存した状態で保ち、測定結果から自動的に差し引くことができます。例えば靴や衣服の総重量を保存しておき、患者が靴や服を着たまま体重を測定し、そこから靴や衣服の総重量を測定結果から差し引くことができます。



1. メニューの項目「Pt」を選択します。

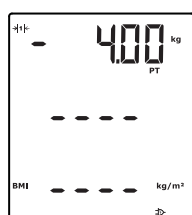
最後に設定した追加重量がディスプレイに点滅表示されます。「PT」の表示がディスプレイに現れます。

2. 保存された値を使うか矢印ボタンで別の値を設定することができます。

注意事項：

値「0」を入力すると、この機能はオフになります。「Pt」というメッセージがディスプレイに表示されなくなります。

3. 選択を確定します。
設定された追加重量（ここでは4kg）がマイナス記号と一緒に表示されます。



「NET」および「PT」というメッセージが表示されます。



4. 患者に体重計に乗ってもらってください。
患者の体重が表示されます。
保存されている追加重量が自動的に差し引かれます。
5. この機能をオフにするには、メニューで項目「Pt」をもう一度選択します。
6. 選択を確定します。
設定された追加重量が表示されなくなります。
機能がオフになりました。



自動保持機能をオンにする (AHold)

自動保持機能をオンにすると、各測定プロセスでの測定結果は、体重計に重さがかからなくなっても表示され続けます。そのため、測定プロセスのたびに保持 (HOLD) 機能を手動でオンにする必要がありません。

注意事項：

ここで選択された設定とは関係なく、2 in 1 機能では子供の体重はいつも自動保持で測定されます。

AHOLD

On

1. メニューで項目「Ahold」を選択します。
2. 選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
3. ご希望の設定を選択します：
 - On (オン)
 - Off (オフ)
4. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

シグナル音をオン/オフにする (bEEP)

設定可能なシグナル音：

- ボタンを押すとき
- 体重値が安定したとき
- 測定プロセスの開始および終了のとき

体重値が安定したときのシグナル音は、保持 / 自動保持機能とともに設定されます。

bEEP

PrESS

HOLD

MEASr

On

1. メニューの項目「bEEP」を選択します。
2. 選択を確定します。
3. メニューポイントを1つ選択してください：
 - PrESS：ボタンを押すとシグナル音が鳴る
 - HOLD：体重値が安定するとシグナル音が鳴る
 - MEASr：測定プロセス中、シグナル音が鳴る
4. 選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
5. ご希望の設定を選択します：
 - On (オン)
 - Off (オフ)
6. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。
7. 2つ目の機能に関してもシグナル音をオンにしたい場合は、この手順を繰り返してください。

抑制の設定 (FIL)

抑制 (FIL (フィルター)) により、体重測定の際の障害を減らすことができます。選択された設定は感度に影響を与えます。その感度により体重表示は患者の動きに対して反応します。また「HOLD (保持)」機能により体重値が表示されたままになるまでの時間にも影響します。

FIL

FIL 0

1. メニューの項目「FIL」を選択します。
2. 選択を確定します。
現在の設定が表示されます。

FIL 2

3. 抑制レベルを選択します。

Fil (フィル ター)	体重表示	Hold (保持)
0	敏感	ゆっくり
1	中	中
2	鈍い	速い

注意事項：

- ・設定「0」にすると、じっとしてられない患者に対して、「Hold (保持)」機能がオンになっていても体重値が表示されたままにならないようになります。
- ・設定「2」にすると、表示された体重値と実際の体重値の間の誤差が最大になります。

4. 選択を確定します。

メニューは自動的に終了します。

工場設定に戻す (RESET)

次の機能に対して、工場設定を復元することができます。

機能	工場設定
自動保持 (AHold)	Off (オフ)
シグナル音 (PrESS)	On (オン)
シグナル音 (HOLd)	On (オン)
シグナル音 (MEASr)	On (オン)
抑制 (FIL)	0
自動クリア (ACLr)	On (オン)
プリセット風袋 (Pt)	0 kg
ディスプレイの照明の明るさ	50 %
ディスプレイの照明継続時間	Permanent (ずっと継続)
BMI/BFR	BMI
Physical-Activity-Level (身体活動レベル) (PAL)	1.0
年齢 歳	18
年齢 月	0
身長の単位	cm
無線モジュール (SYS)	Off (オフ)
自動送信 (ASEnd)	Off (オフ)
自動印刷 (APrt)	Off (オフ)
測定シグナル音	On (オン)
言語	タイプによる
患者への指示	On (オン)
測定結果のアナウンス	タイプによる
音量	50 %
アナウンス「印字された測定結果をお取りください」 (Print)	Off (オフ)
Ultra (超音波)	有効

注意事項：

工場設定に戻すと、無線モジュールはオフになります。既存のワイヤレスグループに関する情報は維持されます。ワイヤレスグループを新たに再設定する必要はありません。

rESEt

1. メニューの項目「rESEt」を選択します。

2. 選択を確定します。

メニューは自動的に終了します。

3. 体重計の電源をオフにします。

工場設定に戻ります。体重計の電源を再びオンにすれば、その設定を使用できるようになります。

6. ワイヤレスネットワーク SECA 360° WIRELESS

6.1 はじめに

この製品は無線モジュールを備えています。無線モジュールにより、測定結果を評価、記録するためにデータをワイヤレスで転送することができます。データの転送は、以下に挙げる製品に対して可能です。

- seca ワイヤレスプリンター
- seca USB ワイヤレスアダプター搭載のパソコン

seca ワイヤレスグループ

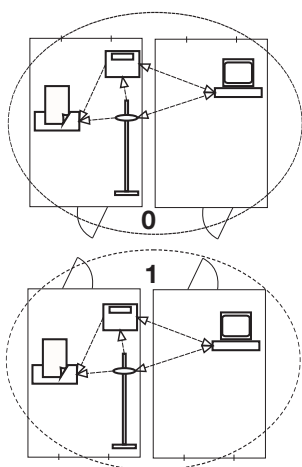
ワイヤレスネットワーク **seca 360° wireless** は、ワイヤレスグループと共に機能します。ワイヤレスグループとは、送信機器と受信機器のバーチャルグループです。同一タイプの複数の送信機器と受信機器を作動させる場合、最大3つのワイヤレスグループ（0、1、2）を設定することができます。

複数の検査室がそれぞれ同等の機器装備で運用される場合、複数のワイヤレスグループを設定することで、測定値を確実に、かつ正しい宛先に転送することが可能です。

送信機器と受信機器の最大距離は約10mです。壁の厚さや特性といった、特定の局地的条件により、受信範囲が狭くなることもあります。

ワイヤレスグループごとに、以下の製品のコンビネーションが可能になります。

- 1 乳児用体重計
- 1 体重計
- 1 身長計
- 1 seca ワイヤレスプリンター
- 1 seca USB ワイヤレスアダプター搭載のパソコン



チャンネル

1つのワイヤレスグループ内で、この製品は3つのチャンネル（C1、C2、C3）で相互に通信を行います。

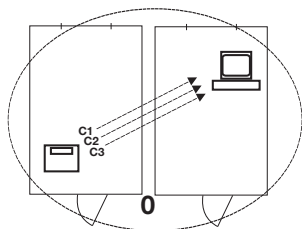
この製品でワイヤレスグループを設定すると、製品は、最適なデータ転送を可能にする3つのチャンネルを提案します。提案されたチャンネル数を採用することを推奨します。

複数のワイヤレスグループを設定したい場合などは、チャンネル数（0から99まで）を手動で選択することも可能です。

データ転送を支障なく行うには、チャンネルが互いに十分離れていなければなりません。チャンネル数は30以上の間隔をあけることを推奨します。どのチャンネル数も1つのチャンネルにのみ使用可能です。

設定例 - クリニック内で3つのワイヤレスグループを設定する場合のチャンネル数：

- ワイヤレスグループ 0：C1=_0、C2=30、C3=60
- ワイヤレスグループ 1：C1=10、C2=40、C3=70
- ワイヤレスグループ 2：C1=20、C2=50、C3=80



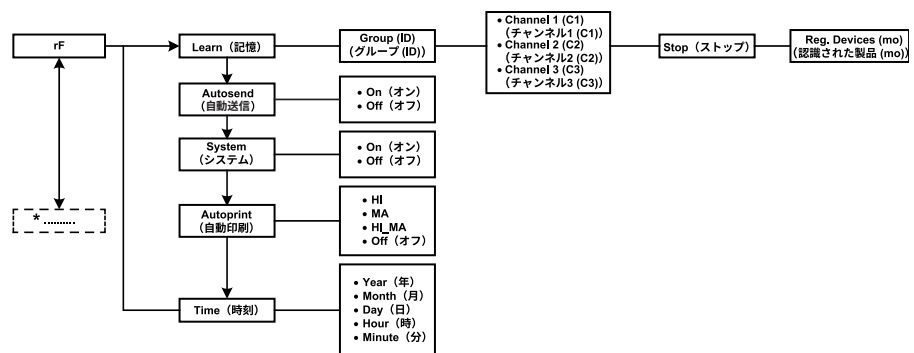
製品の認識

この製品でワイヤレスグループを設定すると、グループはその他のアクティブな製品を **seca 360° wireless** システムから探します。認識された製品は、この製品のディスプレイにモジュール（例えば MO3）として数値で表示されます。その数字の意味：

- 1：体重計
- 2：身長計
- 3：ワイヤレスプリンター
- 4：seca USB ワイヤレスアダプター搭載のパソコン
- 7：乳児用体重計
- 5、6 および 8～12：システム拡張のための予備

6.2 ワイヤレスグループ内の測定ステーションの運用（メニュー）

本製品を seca ワイヤレスグループ内で運用する上で必要な機能は、すべてサブメニュー「rF」内にあります。



*マルチ機能ディスプレイのメニューの中のナビゲーションについての情報は、30 ページをご覧ください。

ワイヤレスグループを設定する (Lrn)

ワイヤレスグループを設定するには、以下の手順に従ってください：

1. 製品の電源をオンにします。
2. メニューを呼び出します。
3. メニューの項目「rF」を選択します。
4. 選択を確定します。
5. メニューポイント「Lrn」(Learn) (記憶させる) を選択します。
6. 選択を確定します。

rF

Lrn

Id 0

Id 1

C10

C230

現在設定されているワイヤレスグループ（ここではワイヤレスグループ 0「Id 0」）が表示されます。

ワイヤレスグループ「0」が既に存在し、この製品でその他のワイヤレスグループを設定したい場合には、矢印ボタンで他の ID を選択してください（ここではワイヤレスグループ 1「Id 1」）。

7. ワイヤレスグループの選択を確定します。

製品は、チャンネル 1 のチャンネル数を提案します（ここでは「C10」）。

提案されたチャンネル数を承認するか、または矢印ボタンを使って別のチャンネル数を設定することができます。

8. チャンネル 1 の選択を確定します。

製品が、チャンネル 2 用のチャンネル数を提案します（この場合：「C230」）。

提案されたチャンネル数を承認するか、または矢印ボタンを使って別のチャンネル数を設定することができます。

注意事項：

2桁のチャンネル数は、空白文字なしで表示されます。「C230」という表示の意味：チャンネル「2」、チャンネル数「30」。

9. チャンネル2の選択を確定します。



製品が、チャンネル3のチャンネル数を提案します（この場合：「C360」）。

提案されたチャンネル数を承認するか、または矢印ボタンを使って別のチャンネル数を設定することができます。

10. チャンネル3の選択を確定します。



StOP というメッセージがディスプレイに表示されます。

製品が、受信範囲内にある無線受信可能な他の機器からのシグナルを待ちます。

注意事項：

- ・製品の中には、それをワイヤレスグループに統合しようとする際に、スイッチをオンにするための特別な手続きを必要とするものがあります。各製品の取扱説明書にしたがってください。

11. ワイヤレスグループに統合したい製品、例えばワイヤレスプリンターをオンにしてください。

ワイヤレスプリンターが検知されると、ピープ音が聞こえます。

注意事項：

ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに組み込まれたら、続いて印刷オプションを選択し（Menu\rF\APrt）、時刻を設定する（Menu\rF\TIME）必要があります。

12. このステップ11.を、このワイヤレスグループに統合しようとするすべての製品に対して繰り返してください。

13. Enter ボタンを押して、検索プロセスを終了します。



14. 矢印ボタンを押して、どの製品が認識されたかを表示してください（ここでは Mo 3）。

複数の製品をワイヤレスグループに統合したときには、矢印ボタンを複数回押し、すべての製品がこの体重計によって認識されていることを確認してください。

15. エンターボタンでメニューを終了させるか、メニューが自動的に終了するまで待ちます。

自動送信をオンにする（ASEnd）

測定結果を同じワイヤレスグループに登録されている、受信可能なすべての受信機器（例えばワイヤレスプリンター、USB ワイヤレスアダプター付パソコン）に自動的に送られるように、この製品を設定することができます。

注意事項：

ワイヤレスプリンターを使用する場合、印刷オプションに「Off」が設定されていないことを確認してください（42 ページ「印刷オプションを選択する（APrt）」を参照）。

1. 製品の電源をオンにします。
2. サブメニュー「rF」のメニューポイント「ASend」を選択し、選択を確定します。




3. 設定「On」を選択し、選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

無線モジュールをオン/オフにする（システム）

本製品は、無線モジュールがオンの状態で納品されます。無線モジュールをオンにすると電力消費が増えます。ワイヤレスデータ転送を使用しない場合には無線モジュールをオフにすることができます。

1. 製品の電源をオンにします。

SYS

OFF

- サブメニュー「rF」のメニューポイント「SyS」を選択します。
- 選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
- ご希望の設定を選択します：
 - On (オン)
 - Off (オフ)
- 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

印刷オプションを選択する (APrt)

測定結果をそのワイヤレスグループに登録されているワイヤレスプリンターで自動的に印刷できるように測定ステーションを設定することができます。

注意事項：

この機能にアクセスできるのは、「Learn」機能から seca ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに組み込まれている場合に限られます。

APrt

- マルチ機能ディスプレイの電源をオンにします。
- その都度、サブメニュー「rF (無線周波数)」でメニューポイント「APrt (自動印刷)」を選択し、その選択を確定します。
- ご希望の印刷結果ごとにマルチ機能ディスプレイに対して適切な設定を選択してください：

APrt マルチ機能ディスプレイ	印刷結果
体重	MA
身長	HI
身長、体重、BMI/BFR	HI MA
自動印刷はオフ	Off (オフ)

- 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

注意事項：

本製品の APrt 機能および音声出力が有効になっていると、測定結果の印刷に続いて「印字された測定結果をお取りください」というアナウンスが流れます。

時刻を設定する (tIME)

ワイヤレスプリンターが測定結果に日付と時刻を自動的に追加するよう、システムを設定することができます。そのためには、本製品に日付と時刻を1回設定し、ワイヤレスプリンターの内部時計にその日付と時刻を転送する必要があります。

注意事項：

この機能にアクセスできるのは、「Learn (記憶)」機能を通じて seca ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合された場合に限られます。

tIME

YEA 10

- 製品の電源をオンにします。
- サブメニュー「rF」のメニュー項目「tIME」を選択します。
- 選択を確定します。
「年」(Yea)の現在の設定が表示されます。
- 正しい年数を設定してください。
- 選択を確定します。
- 手順4および手順5を「月」(Mon)、「日」(dAy)、「時」(hour)、「分」(Min)に対して繰り返してください。
- その都度、選択を確定します。
分の設定を確定した後、メニューは自動的に終了します。
設定は自動的にワイヤレスプリンターに転送されます。
ワイヤレスプリンターは、すべてのプリントアウトに日付と時刻を自動追加します。

注意事項：

ワイヤレスプリンターのその他の操作については、ワイヤレスプリンターの取扱説明書に従ってください。

7. 衛生管理


警告！
感電

この製品は、オン/オフボタンが押されると、たとえディスプレイが消えていても、電気が流れています。製品で液体を使用する場合、感電の可能性があります。

- ▶ 衛生管理を実施する前は、必ず製品のスイッチがオフになっていることを確認してください。
- ▶ 衛生管理を実施する前は、必ず AC アダプターを引き抜いてください。
- ▶ 衛生管理を実施する前は、必ず充電電池を本製品から取り外してください（それが存在し、技術的に取外しが想定されている場合に限る）。
- ▶ 液体が製品に入り込まないようにしてください。


注意！
製品の破損

不適切な洗浄剤および消毒剤は、製品のデリケートな表面を損傷する可能性があります。

- ▶ 必ずアクリルガラスおよびその他のデリケートな表面に適した、塩素およびアルコールを含まない消毒液を使用してください（作用物質：第四級アンモニウム化合物など）。
- ▶ クレンザーや刺激性のクリーナーは使用しないでください。
- ▶ 有機溶剤（アルコールやベンジンなど）は使用しないでください。
- ▶ 清掃中に液体やほこりがセンサーに入らないように気をつけま

7.1 清掃

- ▶ 製品の表面は必要に応じて、マイルドな石鹼液で湿らせた柔らかい布で清掃してください。

7.2 消毒

1. 使用する消毒剤が、敏感な表面やアクリルガラスに適しているかどうか確認してください。
2. 消毒剤の使用説明書を参照してください。
3. 製品を消毒します：
 - ▶ 柔らかい布を消毒剤で湿らせ、その布で製品の表面を清掃してください。
 - ▶ 消毒のタイミングに注意してください（表を参照）。

消毒するタイミング	対象
各測定前	計量台
各測定後	計量台
必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポールおよびマルチ機能ディスプレイ ・ 超音波ヘッド ・ ポールエレメント

7.3 滅菌

製品の滅菌は行わないでください。

8. 機能点検

- ▶ 製品の使用前には必ず機能点検を行ってください。

完全な機能点検には以下が含まれます。

- 機械的損傷の目視検査
- 製品の水平の確認
- 表示部の目視検査および機能検査
- 「概観」の節で説明されている全操作部の機能検査
- オプション・アクセサリーの機能検査

機能検査でエラーや異常が発見された場合は、まずはこの文書の「こんなときはどうする？」の節をご確認ください。



注意！ 人身傷害

機能検査でエラーや異常が発見され、それを「こんなときはどうする？」の節をたよりにしても解決できなかった場合、それ以降、製品は使用しないでください。

- ▶ 製品の修理は seca サービスまたは正規のサービス担当者に依頼してください。
- ▶ この文書の「メンテナンス / 再検定」の節に留意してください。

9. こんなときはどうする？

トラブル	原因 / 対処法
補正の際に「FAIL」というメッセージが現れた。	補正に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none">- 同梱の校正ロッドを使用したか確認- 校正ロッドを製品下部の足の中央に置いたか確認（24 ページ「身長測定」の補正」を参照）- 補正中は、本製品の至近に物が無い、または人がいないか確認（21 ページ「製品の設置」を参照）
人や物を載せても体重が表示されない。	製品に電源が供給されていない。 <ul style="list-style-type: none">- 体重計のスイッチがオンになっているか確認してください- 乾電池がセットされているか確認してください（製品を乾電池を使って運転する場合）。- 電力の供給を確認（製品を AC アダプターを使って運転する場合）
ステータス LED が点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">• 超音波測定ヘッドのモジュラーケーブルの差込みが不適切- モジュラーケーブルが超音波測定ヘッドで適切に差し込まれているか確認• 超音波測定がオフ- 製品の再起動• ステータス LED の故障- seca サービスに連絡
患者への指示がアナウンスされない。	<ul style="list-style-type: none">• 患者への指示のアナウンスがオフ- 機能をオンにする（32 ページ「患者への指示のアナウンスのオン / オフ (InStr)」を参照）• 超音波測定がオフ- 製品の再起動• 音量がゼロに設定- 音量を上げる• スピーカーの故障- seca サービスに連絡

トラブル	原因 / 対処法
シグナル音が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> • シグナル音がオフ <ul style="list-style-type: none"> - 機能をオンにする (37 ページ「シグナル音をオン / オフにする (bEEP)」を参照) • 超音波測定がオフ <ul style="list-style-type: none"> - 製品の再起動 • 音量がゼロに設定 <ul style="list-style-type: none"> - 音量を上げる • スピーカーの故障 <ul style="list-style-type: none"> - seca サービスに連絡
測定結果がアナウンスされない。	<ul style="list-style-type: none"> • 測定結果のアナウンスがオフ <ul style="list-style-type: none"> - 機能をオンにする (32 ページ「測定結果のアナウンスのオン / オフ (reSUL)」を参照) • 超音波測定がオフ <ul style="list-style-type: none"> - 製品の再起動 • 音量がゼロに設定 <ul style="list-style-type: none"> - 音量を上げる • スピーカーの故障 <ul style="list-style-type: none"> - seca サービスに連絡
印字された測定結果を取るようという指示がアナウンスされない。	<ul style="list-style-type: none"> • 機能がオフ <ul style="list-style-type: none"> - 機能をオンにする (32 ページ「アナウンス「印字された測定結果をお取りください (Print)」のオン / オフ」を参照) • 超音波測定がオフ <ul style="list-style-type: none"> - 製品の再起動 • 音量がゼロに設定 <ul style="list-style-type: none"> - 音量を上げる • スピーカーの故障 <ul style="list-style-type: none"> - seca サービスに連絡
マルチ機能ディスプレイの項目が常に点灯している、またはまったく点灯しない。	<p>該当する箇所に何らかの故障があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - seca サービスに連絡する
「StOP」という表示が出る。	<ul style="list-style-type: none"> • 体重測定の間： <ul style="list-style-type: none"> 最大測定重量を超えています。 - 体重計に載っているものを降ろしてください。 • ワイヤレスグループ設定中： <ul style="list-style-type: none"> ワイヤレスチャンネル設定が遮断されている。 - ワイヤレスグループに統合したい製品のスイッチをオンにする (40 ページ「ワイヤレスグループを設定する (Lrn)」を参照)
「tEMP」が表示されている。	<p>体重計の周囲の温度が高すぎ、あるいは低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 体重計を周囲の温度が +10 °C から +40 °C までの場所に設置してください。 - 体重計が周囲の温度になじむまで約 15 分待ちます。
マルチ機能ディスプレイが、ボタンを押しても反応しない。	<ul style="list-style-type: none"> • キーロックがオンになっている。 <ul style="list-style-type: none"> - キーロックをオフに切り換える (26 ページ「キーロックのオン / オフ 切り換え」を参照) • 製品は、不適切なデータが入力され、想定外の状態に置かれている。 <ul style="list-style-type: none"> - AC アダプターをコンセントから引き抜く - 約 1 分待機 - AC アダプターをコンセントにつなぐと体重計とマルチ機能ディスプレイが自動的にオンになります。

トラブル	原因 / 対処法
電源オン後、初めて測定結果を送信し、シグナル音が2回聞こえた。	<ul style="list-style-type: none"> • この製品はワイヤレス受信製品 (seca ワイヤレスプリンターまたは、seca USB ワイヤレスアダプター付パソコン) に測定結果を送ることができませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> - 製品がワイヤレスネットワークに統合されているか確認 - 受信機がオンになっているか確認 • 受信機は、近くにある HF (短波) 機器 (例えば携帯電話) によって障害を受けます。 <ul style="list-style-type: none"> - HF (短波) 機器と seca ワイヤレスネットワーク内の送信機器および受信機器の間隔を 1 m 以上あげてください。 <p>注意事項： この問題を解決しないと、その後送信を試みてもそれ以上アラーム音は鳴りません。</p>
rF-メニューに項目「SYS」しか表示されない。	無線モジュールがオフになっています。 - 無線モジュールをオンにする (41 ページ「無線モジュールをオン/オフにする (システム)」を参照)
rF-メニューに項目「SYS」と「Lrn」しか表示されない。	無線モジュールがオンになっていて、ワイヤレスグループが設定されていない。 - ワイヤレスグループを設定する (40 ページ「ワイヤレスグループを設定する (Lrn)」を参照)
rF-メニューに項目「APrt」と「tIME」が表示されない。	ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに登録されていない。 - ワイヤレスグループのメニュー項目「Lrn」でワイヤレスプリンターを登録 (40 ページ「ワイヤレスグループを設定する (Lrn)」を参照)
メニューを呼び出した後、項目「rF」が表示されない。	体重計の無線モジュールが壊れている。 - seca サービスに連絡
「Er:H:11:」が表示される。	体重計に重すぎるものが載せられているか、かたよった場所に重さがかかっています。 - 体重計に載っているものを降ろすか、均等に体重がかかるように配置してください。 - 体重計を再スタートさせます。
「Er:H:12:」が表示される。	体重計に重いものが載せられた状態でスイッチがオンになりました。 - 体重計に載っているものを降ろしてください。 - 体重計を再スタートさせます。
「Er:H:16:」が表示される。	体重計がぐらついてゼロ値を測定できませんでした。 - 体重計を再スタートさせます。
エンターボタンを押すと、「Er:H:71:」が表示される。	データ転送ができません。無線モジュールがオフになっています。 - 無線モジュールをオンにする (41 ページ「無線モジュールをオン/オフにする (システム)」を参照)
エンターボタンを押すと、「Er:H:72:」が表示される。	データ転送ができません。ワイヤレスグループが設定されていません。 - ワイヤレスグループを設定する (40 ページ「ワイヤレスグループを設定する (Lrn)」を参照)
「Er:6:80:」が表示される。	音声出力メモリを読むことができない。 - seca サービスに連絡 測定ステーションは、操作し続けられます。エラーメッセージを消すには、シグナル音および音声出力をオフにします。 - 患者への指示のアナウンスをオフにする (32 ページ「患者への指示のアナウンスのオン/オフ (InStr)」を参照) - 測定結果のアナウンスをオフにする (32 ページ「測定結果のアナウンスのオン/オフ (reSUL)」を参照) - シグナル音をオフにする (37 ページ「シグナル音をオン/オフにする (bEEP)」を参照)

トラブル	原因 / 対処法
「Er:6:81」が表示される。	<p>言語ファイルが見つからない。</p> <ul style="list-style-type: none"> - seca サービスに連絡 <p>測定ステーションは、操作し続けられます。エラーメッセージを消すには、シグナル音および音声出力をオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 患者への指示のアナウンスをオフにする（32 ページ「患者への指示のアナウンスのオン/オフ (InStr)」を参照） - 測定結果のアナウンスをオフにする（32 ページ「測定結果のアナウンスのオン/オフ (reSUL)」を参照） - シグナル音をオフにする（37 ページ「シグナル音をオン/オフにする (bEEP)」を参照）
「Er:6:82」が表示される。	<p>測定プロセス中にエラーが発生した。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 患者に静かに立ち続けるように求め、測定プロセスを繰り返す <ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返しエラーメッセージが出る場合： <ul style="list-style-type: none"> - seca サービスに連絡
「Er:6:83」が表示される。	<p>参照測定中にエラーが発生した。</p> <ul style="list-style-type: none"> - プラットフォームから降りる - 本製品の至近に物がない、または人がいないか確認する（21 ページ「製品の設置」を参照）
「Er:6:84」が表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品の周囲の温度が高すぎ、あるいは低すぎる。 <ul style="list-style-type: none"> - 製品を周囲の温度が +10 °C ~ +40 °C までの場所に設置してください - 製品が周囲の温度になじむまで、約 15 分間待ってください ・ 温度センサーが故障している。 <ul style="list-style-type: none"> - seca サービスに連絡

10. メンテナンス / 再検定

10.1 メンテナンスおよび再検定についての情報

製品の再検定の前に、メンテナンスを実施することを推奨します。

気をつけて！

不適切なメンテナンスによる誤測定

- メンテナンスおよび修理は、必ず seca サービスまたは正規のサービス担当者にご依頼ください。
- 最寄のサービス担当者は、www.seca.com でお探しく下さい。あるいは info@seca.co.jp にメールしてください。

国内の法的規定に基づいて再検定は有資格者に依頼して行ってください。

1 つもしくは複数の安全標に抵触しているとき、もしくは度量衡メーター内容が有効な度量衡メーター標に一致していない場合には、その都度、再検定が必要になります。安全標に傷が付いている場合、seca サービスに直にご連絡ください。

10.2 度量衡メーター内容を検証する

この seca の体重計は検定を受けています。検定は、資格を有する機関の手によってのみ実施されます。これを確実にを行うために、この体重計は度量衡メーターを備えています。メーターは検定技術関連のデータの変更をすべて記録します。

この体重計が規定通りの検定を受けているかを確認したいときには、次のように行ってください。

1. 必要があれば体重計をオフにします。
2. 任意のボタンを押し続け、体重計をスタートさせます。



ディスプレイに数秒間、現在の度量衡メーター内容が点滅します。


- 提示された度量衡メーター内容を度量衡メーター標に登録された数値と比較します。

度量衡の検定が有効であるためには、両方の数値が一致している必要があります。標識とメーターの数値が一致していない場合には、再検定を行ってください。サービス担当者または seca サービスにお問い合わせください。再検定が実施された場合、新しい、更新された度量衡メーター標が度量衡メーター状態の標示に使用されます。この標識は、再検定を実施する有資格者によって追加スタンプによって固定されます。この度量衡メーター標は、seca サービスから入手できます。

11. 技術データ

11.1 一般的な技術データ

一般的な技術データ	
外形寸法 ・ 奥行 ・ 幅 ・ 高さ	466 mm 434 mm 2270 mm
自重量	16.5 kg
運転時の環境条件 ・ 温度 ・ 気圧 ・ 湿度	+10° C ~ +40° C 700hPa ~ 1060hPa 30 % ~ 80 % で結露しない
保管時の環境条件 ・ 温度 ・ 気圧 ・ 湿度	-10° C ~ +65° C 700hPa ~ 1060hPa 0 % ~ 95 % で結露しない
輸送時の環境条件 ・ 温度 ・ 気圧 ・ 湿度	-10° C ~ +65° C 700hPa ~ 1060hPa 0 % ~ 95 % で結露しない
表示文字サイズ ・ マルチ機能ディスプレイ、3 行	14 mm
電源供給 ・ AC アダプター - 電源電圧 - 最大消費電力	12 V 代表値 500 mA
電源電圧	100 V - 240 V
電源周波数	50 Hz - 60 Hz
消費電力 (マルチ機能ディスプレイ / 超音波ヘッド) - 無線モジュールはオフ、バックライト無点灯、および 50 % の音量 - 無線モジュールはオン、バックライト常時点灯 (明るさ: 100 %)、および 75 % の音量	約 100 mA 約 220 mA
測定技術上のデータ、身長測定 ・ 測定範囲 ・ 目盛り	60 cm - 210 cm 1 mm
精度 ・ 100 ~ 200 cm (周囲の温度 20° C、無風、測定範囲の周囲に障害物無し)	± 5 mm

一般的な技術データ	
EN 60 601-1 : ・ 保護絶縁された製品、保護等級 II ・ タイプ B の電子医療装置	
保護等級	IP 20
運転方式	継続運用
指令 (93/42/EEC) に準拠した医療機器 (ヨーロッパ内のみ)	測定機能付きのクラス I
無線転送 ・ 周波数帯 ・ 送信電力 ・ 適用規格	2.433 GHz ~ 2.480 GHz < 10 mW EN 300 328 EN 301 489-1 EN 301 489-17
最小重量 (測定プロセス作動)	0.5 kg

11.2 重量測定の日付

seca 287	
2014/31/EU 指令に準拠した検定 (ヨーロッパ内のみ)	クラス III
精度等級 (日本)	3 級
型式承認番号 (日本)	D1135 号
最大測定重量 ・ 重量測定領域 1 ・ 重量測定領域 2	150 kg 300 kg
最小荷重 ・ 重量測定領域 1 ・ 重量測定領域 2	1 kg 2 kg
目盛り ・ 重量測定領域 1 ・ 重量測定領域 2	50 g 100 g
風袋範囲	300 kg まで
初回検定時の精度 ・ 重量測定領域 1 : 0 kg ~ 25 kg ・ 重量測定領域 1 : 25 kg ~ 100 kg ・ 重量測定領域 1 : 100 kg ~ 150 kg ・ 重量測定領域 2 : 0 ~ 50 kg ・ 重量測定領域 2 : 50 ~ 200 kg ・ 重量測定領域 2 : 200 ~ 300 kg	± 25 g ± 50 g ± 75 g ± 50 g ± 100 g ± 150 g

12. 交換部品

スイッチモード、AC アダプター : 100 ~ 240 V~ / 50 ~ 60 Hz、12 V= / 0.5 A	68-32-10-270
---	--------------

13. オプションの付属品

PCソフトウェア seca analytics 115	用途別ライセンスパッケージ
ワイヤレスネットワーク seca 360° wireless: ・ワイヤレスプリンター - seca 360° Wireless Printer 465 - seca 360° Wireless Printer Advanced 466	国ごとに異なる 国ごとに異なる
seca 360° Wireless Printer 465 用プリンターホルダー： - seca 481	481-00-00-009
seca 360° Wireless Printer Advanced 466 用プリンターホルダー： - seca 482	482-00-00-009

14. 廃棄処分



この製品は家庭ゴミで廃棄しないでください。この製品は、電子機器廃棄物として適切に廃棄してください。各国の規定を遵守してください。その他の情報は、こちらにお問い合わせください。

info@seca.co.jp

15. 保証について

資材や製造時の不具合が原因とされる欠陥については、納品日より1年間の保証期間が適用されます。ただし、電池（充電電池）、ケーブル、ACアダプター、といった可動部品はすべて保証対象外となります。保証の対象となる不具合は、ご購入時の領収書を提示していただければ無償で修理いたします。保証書が保証している範囲以外は保証の対象にはなりません。本製品が国外にある場合、往復の運送費はお客様のご負担になります。運搬中の損害で保証を請求することができるのは、運搬に純正の梱包材一式を使用し、その梱包内で本製品が発送時と同じ梱包状態で保護され、固定されていた場合のみです。そのため、すべての梱包材を保管しておいてください。

seca 社テクニカルスタッフでない人が本製品を開けた場合、保証は失効します。

保証請求の際は、お近くの seca 支店または製品をお買い上げいただいた販売代理店までご連絡ください。

16. 適合宣言書

これにより seca gmbh & co. kg は、本製品が、適用される欧州指令および規則の諸規定に準拠していることを宣言します。適合宣言書の全文は：www.seca.com をご覧ください。

seca 株式会社

〒 262-0011

千葉県千葉市花見川区三角町 94-2

電話 : 043-216-0850(代表)

ファックス : 043-216-0851

seca corporation

94-2 Sankakucho, Hanamigawaku, Chiba City, Chiba, 262-0011 Japan

Tel.: +81 43 21 60 85 0

Fax: +81 43 21 60 85 1

Medical Measuring Systems and Scales since 1840

seca gmbh & co. kg
Hammer Steindamm 3–25
22089 Hamburg · Germany
Telephone +49 40 20 00 00 0
Fax +49 40 20 00 00 50
info@seca.com

seca operates worldwide with headquarters
in Germany and branches in:

seca france

seca united kingdom

seca north america

seca schweiz

seca zhong guo

seca nihon

seca mexico

seca austria

seca polska

seca middle east

seca brasil

seca suomi

seca américa latina

and with exclusive partners in
more than 110 countries.

All contact data under www.seca.com